

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜松湖北高等学校

目

次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	31
学校施設の概要	32
在籍生徒調	37
入学志願者及び入学者数調	38
卒業生の動向調	40
生徒の状況	42
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	44
授業料収納状況調	44
預金調	46
郵便券等受払調	46
材料品受払調	47
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	48
委託料に関する調	50
負担金支出調	56
建築工事調	58
公有財産調	60
借地借家等調	62
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	63
行政財産貸付・使用許可調	64
普通財産・借受財産等貸付調	66
職員公舎管理状況調	66
主要備品調	67
生産物受払調	69
職員調	74
職員の年齢調	80
健康管理	82

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

ア 学校の前史

- (ア) 静岡県立引佐高等学校（浜松市北区引佐町金指1428番地）
明治35年4月 学校組合立引佐農業学校開校
大正7年3月 静岡県引佐郡立引佐農林学校と改称
大正11年4月 県立移管、静岡県立引佐農林学校と改称
大正15年3月 静岡県立引佐農学校と改称
昭和23年4月 静岡県気賀高等女学校と合併、静岡県立引佐高等学校と改称
昭和23年9月 定時制課程（農業科）昼間部を併設
昭和25年4月 北庄内分校（定時制課程）を併設
昭和26年4月 静岡県立引佐農業高等学校と改称
昭和30年4月 北庄内分校を静岡県立引佐農業高等学校庄内分校と改称
昭和38年4月 静岡県立引佐高等学校と改称
昭和42年4月 庄内分校、静岡県立浜松湖東高等学校として独立
昭和62年4月 全学科を産業技術科に統合
平成13年11月 創立100周年記念式典挙行
平成27年3月 閉校
- (イ) 静岡県立気賀高等学校（浜松市北区細江町広岡1番地）
大正3年4月 気賀町立気賀女子技芸学校開校
大正7年3月 気賀町立気賀実科高等女学校と改称
昭和3年1月 静岡県気賀実科高等女学校と改称
昭和18年3月 静岡県気賀高等女学校と改称
昭和23年4月 静岡県引佐農学校と合併、静岡県立引佐高等学校と改称
昭和26年4月 静岡県立気賀高等学校と改称
昭和29年9月 引佐郡気賀町広岡1番地に移転
昭和35年4月 商業科を新設
平成26年10月 創立100周年記念式典挙行
平成27年3月 閉校
- (ウ) 静岡県立三ヶ日高等学校（浜松市北区三ヶ日町釣78番地の1）
大正11年4月 三ヶ日自彊学校開校
大正12年2月 三ヶ日実科高等女学校開校
昭和12年4月 三ヶ日町立自彊青年学校を廃止し、三ヶ日実業学校と改称
昭和15年3月 三ヶ日実科高等女学校を廃止し、実業学校に女学部を併置
昭和23年4月 静岡県立三ヶ日高等学校と改称
定時制課程を新設
昭和38年4月 柑橘科を新設
昭和44年3月 引佐郡三ヶ日町釣78番地の1に移転
昭和47年4月 柑橘科を廃止
昭和46年3月 定時制課程を廃止
平成24年11月 創立90周年記念式典挙行
平成27年3月 閉校
- (エ) 静岡県立佐久間高等学校（浜松市天竜区佐久間町中部683番1）
昭和32年4月 佐久間町他三ヶ町村組合立佐久間高等学校開校
昭和34年4月 県立移管、静岡県立佐久間高等学校と改称
静岡県立二俣高等学校水窪分校が静岡県立佐久間高等学校水窪分校と改称
昭和35年4月 家庭科を廃止
昭和42年3月 水窪分校閉校
平成元年3月 寄宿舎「啓成寮」竣工
平成19年4月 連携型中高一貫教育として、浜松市立佐久間中学校が校内に設置
平成26年9月 佐久間高校将来計画に基づき、平成29年度から静岡県立浜松湖北高等学校を本校とする分校化計画公表
平成28年11月 創立60周年記念式典挙行
平成29年4月 静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校と改称

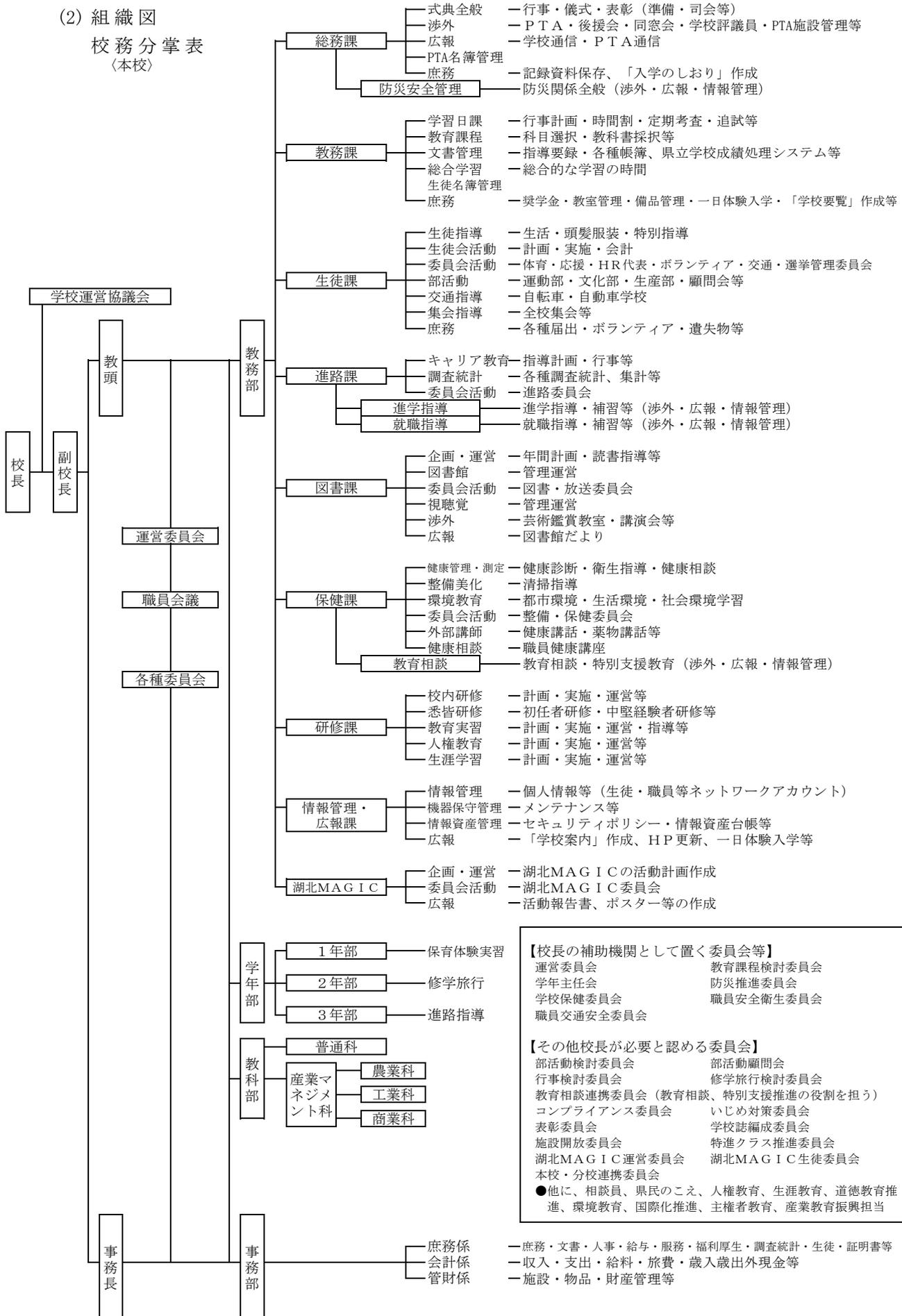
イ 本校の設立経緯

平成17年3月 「静岡県立高等学校第二次長期計画」公表
平成22年4月 引佐地区新構想高等学校（仮称）設置準備委員会設置
平成25年4月 引佐地区新構想高等学校（仮称）開校準備委員会設置
平成26年3月 静岡県立学校設置条例の一部改正により、校名が「静岡県立浜松湖北高等学校」に決定

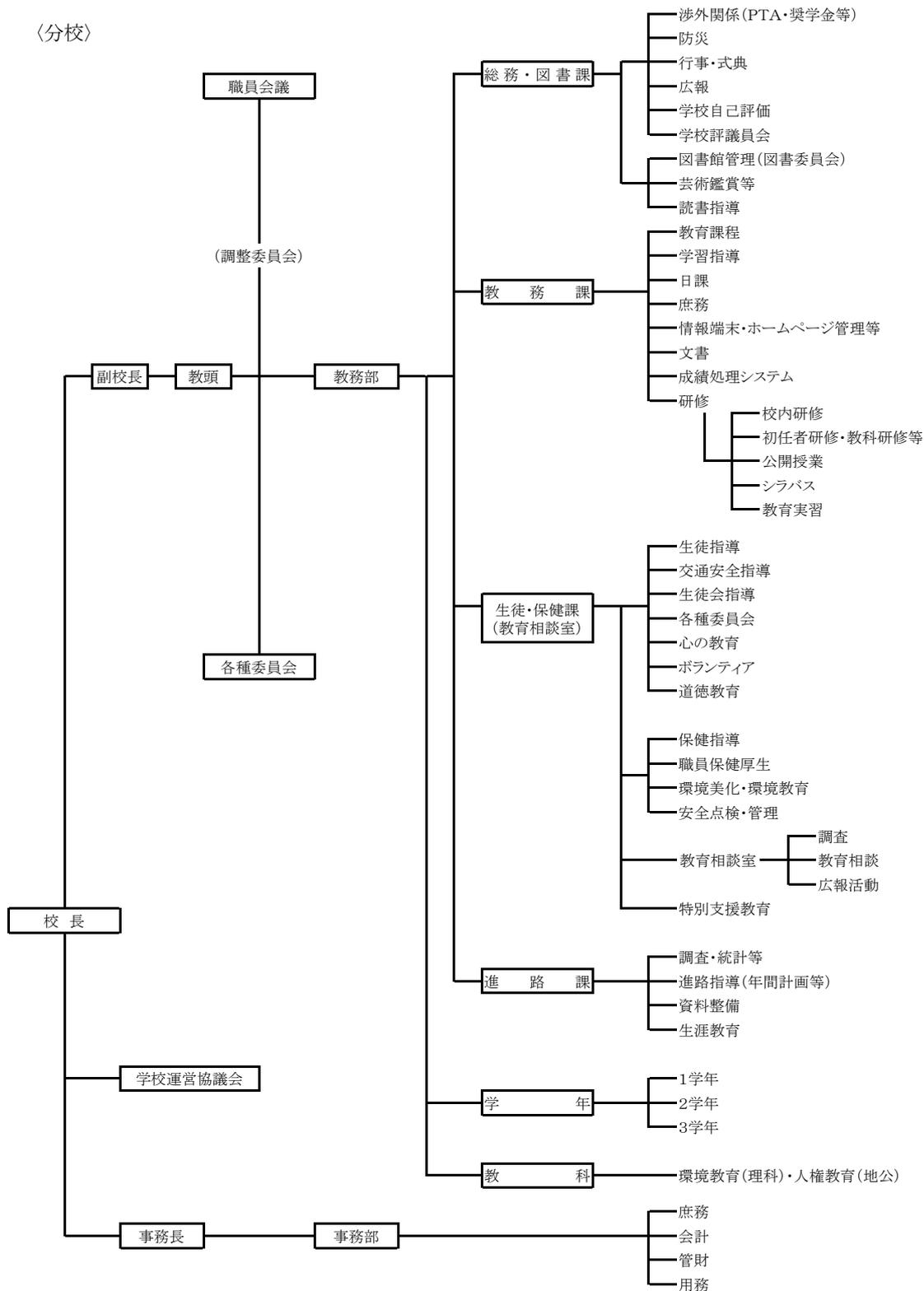
ウ 本校の沿革

平成27年4月 静岡県立浜松湖北高等学校開校 普通科定員160人、産業マネジメントⅠ科40人、産業マネジメントⅡ科80人、産業マネジメントⅢ科40人
平成27年4月 開校式挙行
平成28年3月 第1回卒業式挙行 卒業生274人
平成29年4月 静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校開校
令和6年4月 普通科定員120人

(2) 組織図
校務分掌表
(本校)



(分校)



各種委員会

(常設) 調整委員会・学校職員安全衛生委員会・交通安全委員会・学校保健委員会・コンプライアンス委員会・教科主任会
 ・進路選考委員会・入試検討委員会・総合的な探求の時間委員会

(特別) 「地域」担当委員会・本校・分校連携委員会・校内webサイト委員会

(臨時) 教育課程検討委員会・いじめ対策委員会・施設開放委員会・防災管理委員会・特別支援教育推進委員会

(組織事務局等) 学校評価委員会・北遠奥三河地区中高連絡会・佐水地区連携型中高一貫教育推進協議会事務局
 ・北遠奥三河学校警察等連絡協議会事務局

2 目指す学校像

【本校】

(1) スクール・ミッション

校訓「志高く 未来を創る」の下、浜松北部地区において地域とともに歩む普通科・専門学科併置校として、地域の資源や人材の活用及び実践型の教育活動を通して、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～ ① 自分の進路を見出す「こころざし」を持った生徒を育成します。 ② 人・地域との関わり合いを大切にする「健やかな心身」を持った生徒を育成します。 ③ 幅広い視野を身につけている「豊かな人間性」を持った生徒を育成します。	～本校ではこのような学びを行います～ A 望ましい人間性や職業観を育てる学習指導や進路指導を行います。 B 生徒の主体的な活動を尊重し、協調性や自己管理能力を育てる教育活動を行います。 C 地域で活躍する人材育成を目指して、企業連携などの様々な活動を行います。	～本校ではこのような生徒を求めています～ a 資質や能力を身に付けるために、ひたむきに努力する生徒を求めます。 b 部活動など、校内外の諸活動に仲間と協力し、自発的に取り組む生徒を求めます。 c 地域の文化や産業などに関心があり、地域の活性化に意欲的な生徒を求めます。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

① A a	ア 基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導を充実し、教材や学習形態の工夫等により関心・意欲を高め、生徒の確かな学力を育成する。 イ 進路に係わる様々な指導や活動を通して、生徒の望ましい勤労観・職業観の育成と自己実現を図る力を育成する。 ウ 読書活動を推進し、生徒の読書習慣を定着する。
② B b	エ 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る指導を通して、生徒の自己管理能力を育成する。 オ 主体性を促すと同時に、学校行事や部活動などを通して、自発性や協調性を育てる。 カ 安心・安全で活気ある教育環境を整備するとともに、健やかな心身を育てる様々な教育を充実する。
③ C c	キ 地域の大学や企業等と連携し、学習や湖北MAGIC活動を通して、地域社会に求められる人材を育成する。
	ク 家庭や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。 ケ 授業改善を図り、使命感や倫理観を涵養することで教職員の資質・能力の向上を図る。 コ 教職員の業務改善を通して、生徒と向き合う時間を増やすとともに、教職員のワークライフバランスを実現する。

【分校】

(1) スクール・ミッション

北遠地区(愛知県奥三河地区を含む)における生徒の多様な進路希望にこたえる全日制普通科高校として、丁寧で手厚い少人数教育と複数の学校や地域と連携した教育を通して、誠実で地域や社会の中でより良く生きる能力や態度を持った人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー(本校では卒業までにこのような力を身に付けます)
校訓「誠実」の下 ・「磨かれた人間性」 自主・自律の精神と思いやりの心を持ち、豊かな感性と創造性にあふれた人間性 ・「磨かれた知性」 自主的・積極的に真理を探究し、自ら思索・判断する知性 ・「磨かれた社会性」 学校や社会で自分の役割や責任を果たすと同時に、地域や社会をよりよくしようと行動できる社会性
カリキュラム・ポリシー(本校ではこのような学びを行います)
・少人数体制を生かした多様な学び ・個に応じた指導による基礎・基本の定着を図る学び ・様々な立場の人との多彩な交流や協力による学び ・地域と一体となり、地域の諸問題に取り組むための学び

アドミッション・ポリシー（本校ではこのような生徒を求めています）
<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりを持ち、他者と協力し、誠実に行動できる生徒 ・高い学習意欲を持ち、自らの可能性に挑戦していく生徒 ・北遠・奥三河地域の中で学び、地域を創造する意欲を持った生徒 ・佐久間での自立した生活を通して自らを高めていく意欲を持った生徒

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 校訓の下、礼儀正しく気持ちの良い挨拶の励行と節度ある生活態度で、誠実な人間性を育む。
- イ 多様な個性を尊重し、個に応じた適切な指導により生徒の人間力を高める。
- ウ 各教科の授業や総合的な探究の時間で、観点別学習状況の評価を効果的に活用し、情報・知識を統合的に使って、物事を深く考え自らの意見や考えを他者に積極的に伝える力を育成する。
- エ 丁寧で手厚い少人数教育により、基礎・基本の定着を図り、主体的で対話的な学びを通してさらに高度な内容に対して理解を深め、高い学力を身に付けさせる。
- オ 多様な進路希望に対して、計画的で丁寧な指導を行い、生徒の進路実現を図る。
- カ 遠隔授業システム及びICTを活用した授業や家庭学習を推進するとともに、外部人材の積極的な活用を行い、中山間地域にあっても多様な学びを保証する魅力ある学校づくりを推進する。
また、その魅力を発信し、この地域での学びに関心を持つ中学生・保護者を増やす。
- キ 地域と一体となり、地域の一員としての学校づくりを進める。
- ク 学校設定教科「地域」において、本校・地元大学及び地域との連携を図るなどして、地域や社会に貢献できる人材を育成する。
- ケ 中学からの学びや生活の連続性を見通した連携型中高一貫教育を推進し、地域の教育力を高める。
- コ 安全安心な学校づくりを啓成寮も含め行う。
- サ DXの推進等を通じて、教職員の業務を軽減することで、心身をリフレッシュする時間を確保する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 前年度の取組目標への評価及び成果と課題

【本校】（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
ア	基礎・基本の 確実な定着と個 に応じた指導の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業で「できた」「わかった」と感じる場面がある」と答える生徒 80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で「できた」「分かった」と感じる場面がある。 87% ・GAPやHACCPにそった農産物や加工品の生産、販売ができた。 ・農業科と商業科が協力し、新商品「幸せいっぱい湖北みかんパイ」を企画・開発・販売を行うことができた。 ・工業科と商業科が協力し、防災をテーマとした活動を展開することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度から現状維持。少しずつ向上するとよい。 ●授業や課題に対して一生懸命取り組む生徒も多いが、勉強量が少ない生徒もいる学習面での指導、支援が必要。 ○落ち着いた雰囲気では授業を受けている。小テストや定期テストに力を入れている様子がある。 ○单元ごとに課題を設定し、グループワークなどでも提出を求め、共通した指導ができた。 ●生徒の主体的活動の充実、思考を深めていく対話が課題である。 ●構造的な知識を問い、生徒の思考を深めていく発問の工夫が必要。 ●思考を要する問や漢字で記入する問の正答率が低い。 ○生徒にとって「わかりやすい＝簡単、ラク」というケースが多いと判断でき、わかるだけの授業にならないことも必要。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
					<p>○小さな達成感の積み重ねが必要。忍耐強い指導が求められる。</p> <p>●授業を受けるうえで紛失、忘れ物が2学期に入って目立った。</p> <p>○ホームプロジェクトは、家庭科の知識を実生活に生かせる良い機会。</p> <p>●農業の課題に対して自ら考え、課題解決能力を向上させる授業を実施。</p> <p>○商品開発や総合実践については、来年度以降も農業科・工業科の協力体制を強固にし、地域団体や企業との連携を進めながら取り組みたい。</p>
		<p>・家庭学習時間一日平均45分以上。</p>	<p>・平日42分 休日57分</p>	B	<p>○学習時間に関しては、昨年度より10～20分増えた。しかし、時間数はまだ少ないため、教科の協力を得ながら、課題等に取り組む時間確保をしていきたい。</p>
		<p>・「先生方はICTの活用など、教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒90%以上。</p>	<p>・先生方はICTの活用など、教材や教え方に様々な工夫をしている。83%</p> <p>・英単語全学年で小テストを週1回実施。</p>	B	<p>○振り返りシートや自己評価シートを活用することにより、生徒が逐次的に自分の到達度を把握していた。</p> <p>○先生方がそれぞれの個性を活かして指導ができたと感じる。また年々生徒の基礎学力が低下していることに対する工夫もしていく必要がある。</p> <p>●小テストの実施に加え、小テスト後の復習や小テストの結果がよくない生徒への事後指導の方法の検討が今後の課題である。</p> <p>○単語テストを通して継続的に学習する習慣を身につけることができた。</p> <p>○目標を上回って達成できた。指導方法を共有して継続したい。</p> <p>●生徒が主体的に考えて問題を解決できるようなどころまで習熟をさせていきたい。そのような教材の研究が必要である。</p>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
イ	望ましい勤労観・職業観の育成と主体的に自己実現を図る力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「進学や就職、資格取得などの進路指導に満足している」と答える生徒 90%以上。 ・大学や高度な資格検定にチャレンジする生徒の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学や就職、資格取得などの進路指導に満足している。88% ・四大合格者 40人 (1/31 現在) R5 43人 ・漢検補講 3級 6回実施 準2・2級通年実施 ・「ふじの国芸術祭」に全校生徒が応募した。 ・英検合格率 48% 2級 1/3 3級 4/4 ・農業食品関連会社 3名就職、関連学校 10名進学。 ・農業技術検定 3級合格率 58%以上 (23/39) ・危険物取扱者乙種 4類 4名合格、第二種電気工事士 8名合格、技能検定 3級 2名合格、電験 3種にチャレンジする生徒もいた。 ・ものづくりコンテスト旋盤作業に 1名が参加した。 ・静岡県商業教育研究大会は、発表をDVDに録画/提出 ・商業各検定合格率 全経簿記検定 3級 70.9% (22/31) 全商簿記検定 2級 22.5% (7/31) ビジネス文書 3級 97.2% (35/36) 2級 48.6% (18/37) 情報処理 3級 94.7% (36/38) 2級 50.5% (20/40) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学年ごとに効果的な進路指導を行うように意識して取り組めた。また、自分の学力よりも高いレベルの大学にチャレンジする生徒が増えるように指導することも大切である。 ○進路実現に向けて、高い意識を持って取り組むことができた。進路指導に対する学年や進路課職員の協力体制を充実させたい。 ○漢検だよりを 8号まで発行し具体的な段階指標を提示して検定取得者を増やした。 ○さまざまな言語活動の機会の提供と働きかけを行った。「ふじの国芸術祭」全校応募の中から入賞者が出た。 ○英検 1次試験合格者 14人で 2次試験合格者 13人 (合格率 93%) だった。2次試験 (面接) 指導は十分にできている。 ●農業・食品関連事業者や関連学校への就職・進学指導を充実させる。 ●資格検定指導を充実させる。 ●各資格試験の宣伝。授業においても資格取得に興味を持たせる内容を入れていきたい。 ●資格試験に向けての補講、ものづくりコンテストの指導を開講する。 ○課題研究において、投資に加え、AIをテーマとした授業展開に挑戦できた。設備における課題 (パソコンのスペック) があり、実習に滞りが出てしまった。 ●検定への取り組みにおいては、主体的に取り組む姿勢に差が出てきており粘り強い指導が必要だと感じた。
ウ	読書活動の推進と読書習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本の生徒 1人当たりの平均貸出冊数 5 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒 1人あたりの貸出数 5冊。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書だけでなく、図書委員による図書館イベントや、放送委員会

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
		冊以上。 ・「読書習慣が身についている」と答える生徒80%以上。 ・図書館便り発行年12回以上。	・私は読書習慣が身についてきている。61% ・図書館だよりの発行数12回。		による放送読書などが生徒の読書習慣の確立に役立った。また、芸術鑑賞教室について予定どおり実施でき、生徒の感性を養う一助となった。 ●朝読書への取り組みは良いが、読書習慣を身につけるところには至っていない。読書の意義を伝えていきたい。 ○図書課と国語科が連携し読書指導を行うことができた。図書館蔵書に教科書関連の資料を充実させた。
エ	基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成	・「学校や地域で元気な挨拶ができる」と答える生徒90%以上。	・私は学校や地域で元気な挨拶ができている。88%	B	○集会での集合、挨拶、聞く姿勢など基本的なことが定着した。 ○さらにもっと元気な挨拶ができるようにしていきたい。 ●集団の中で十分に声が出せていない。 ○進路を意識することで、自ら進んで元気よく挨拶することができた。
・「スマートフォンやSNSを適切に利用している」と答える生徒90%以上。		・私はスマートフォンやSNSを、学校や家庭での決まりを守って適切に利用している。94%	B	●他者を傷つけるような行動、投稿など、使用状況の悪さが見られる。 ●授業中のスマホの使用が多いと感じた。担任や、教科担当が連携してスマホの使用禁止を徹底していく必要がある。 ●放課後の歩きスマホが多く見受けられた。 ●スマホ、SNS利用は使用時間の長さや使用場面の規範意識が低く、指導の継続が必要である。 ●日々の生活でも情報モラルに配慮した生活の指導をしていきたい。	
・重大な交通事故ゼロ。		・重大な交通事故ゼロ。 ・PTAの交通安全指導年間3回実施した。	A	○PTAと生徒交通安全委員との連携を深めたい。 ○駐輪場チェックや0の日運動を定期的に行うことができた。 ●交通事故に遭った生徒が多いと感じる。「もしかしたらこんな危険性が…」と危険意識を	

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
					持たせるよう指導したい。
オ	学校行事と部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 「学校行事に積極的に取り組んだ」と答える生徒 90%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 私は学校行事に積極的に取り組んだ。89% 農業鑑定競技で2名が優秀賞受賞、県大会には意見で3名、プロジェクトが2組出場した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の育成について、家庭との連携ができた。 ○体育祭や文化祭など、ほとんどの生徒たちはルールの範囲内で主体的に取り組んでいた。 ○先生方の適切な助力のもと、学校行事に積極的に取り組む生徒が多い。 ○多くの生徒が学校行事や部活動に積極的に取り組むことができています。 ○感染症対策を十分行いながら学校行事も行うことができた。できる限り通常の学校生活を送ることができる対策と工夫を考えたい。 ○最初の集団行動研修から非常に意欲的に学校行事に取り組む姿勢があり、各行事においてクラスで協力して行うことができた。 ○修学旅行では大きな問題もなく充実した研修を行うことができた。98%以上の生徒が満足していると答えている。特に旅行中は生徒たちが自主自律を意識して行動し、成長した姿が見られた。最上級生として、正しい判断に基づく行動ができるように成長してほしい。 ○文化祭、体育大会ともに積極的に取り組むことができた。行事に対するルールやマナーをしっかりと守らせる指導を徹底したい。 ●農業鑑定競技・意見発表指導を充実させるプロジェクト研究の新しい取組に挑戦する。
		<ul style="list-style-type: none"> 「部活動でやりがいを感じる場面がある」と答える生徒 85%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 私は部活動にやりがいを感じる場面がある。83% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動指導等の充実を図り、生徒の主体性が育まれていると感じる。 ●部室の使い方を見直したほうが良いと感じた。例えば、引退した
		<ul style="list-style-type: none"> 「年度当初に立てた各部活動の 	<ul style="list-style-type: none"> 私は年度当初に立てた部活動の目標 		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
		目標を達成できた」と答える生徒70%以上。	を達成できた。72%		生徒や該当部活以外の生徒の部室の使用など。 ●部活動の所属が自由になり、意欲的に取り組んでいる生徒が増えたと感じる。一方で、所属していない生徒が空いた時間をどのように活用しているのか、何に対して頑張っているのか、ある程度把握する必要があると考えた。(無断アルバイト等を防ぐため) ○来年度、無所属でも可能になった時にどのような状況になるかを注視していきたい。
カ	安心・安全で活気ある学校生活を送るための教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 年3回以上の校内防災訓練、生徒自主防災訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ校内防災訓練、生徒自主防災訓練を年3回以上実施。 	A	○全校生徒が参加する年3回の防災訓練の他、生徒防災組織による発電機訓練の充実を図ることができた。防災倉庫の整備やトイレ設置など、内容の充実が行えた。
		<ul style="list-style-type: none"> 授業中に大きなケガをした生徒ゼロ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に大きなケガをした生徒ゼロ。 疾病治療率(歯科治療率も含む)75.7% 	A	○緊急時の対応の見直しと改善を行った。 ○事故の起こりやすい実験においては、予備実験を行い、授業中は教員が生徒をよく観察し、けがの未然防止ができた。 ○疾病治療率について個別指導を行い、必要性を理解させ受診を促した。
		<ul style="list-style-type: none"> 「困ったことや悩みごとを相談できる人がいる」と回答する生徒90%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったことや悩みごとを相談できる人がいる。89% 	A	○SC面談希望者に面談を実施し、そのフィードバックを十分に活用することができた。
		<ul style="list-style-type: none"> 「学校の美化に努めている」と回答する生徒90%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 私は学校の美化に努めている。85% 	B	○施設・設備に不備が出た場合に、直ちに対応し学習環境の美化・整備は良好に保たれた。 ○個人のゴミの持ち帰りをお願いしており、ゴミ量の削減にもつながっている。今後も現状を維持していきたい。 ○教職員との連携を図り、危険個所等を速やかに改善することができた。
キ	地域社会に求	<ul style="list-style-type: none"> 地域の企業、大 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の企業、大 	B	○高大連携事業や進路ガ

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
	められる人材の育成	学、中学校施設等との連携活動を年延べ10回以上。	<p>学、中学校施設等との連携活動を年延べ10回以上実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発を実施した。講師招請事業、実習を実施した。農産物販売会、地域開放講座を実施した。 ・産業界との連携は天野教育研究へと移行し実行することができた。 ・外部企業との連携により、販売実習を拡大して実施することができた。 ・（商業科）出前授業を3回おこなうことができた。 ・17社の企業訪問及びブログの発信ができた。 ・外部の助成金を活用し、講師招聘授業を5回行うことができた。 ・企業との連携で生まれる授業展開は、生徒だけでなく、教員にとっても新たな学びと意識向上につながっている。 		<p>イダンス等において、大学等との連携活動を昨年度よりも増やすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講師招請事業によって地域課題を見出す、地域住民や企業と連携し、課題を解決するための学習活動にする。 ●出張授業を実施し工業科のアピールをしたい。 ●工業科の新たなアピールの場も模索していきたい。 ●広報においては、各教科担当者が授業内容等を月に一回程度まとめ、ホームページなどにアップしていくことで、より効果的な広報を可能にできると考える。また、商業科での取り組みをPRすることができる出前授業を有効活用していきたい。 ○企業や地域団体等と連携で授業展開することは、生徒だけでなく、商業科教員にとっても時代の変化に対応する力や新しい知識・技術を身に着けることができる貴重な機会である。来年度以降も連携が必須と考える。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「湖北MAGICや地域の企業、大学活動等と連携した活動を行っている」と回答する生徒80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私は湖北MAGICや地域の企業、大学等と連携した活動を行っている。43% ・湖北MAGIC取締役主体で、地域イベントに出店（7回）。湖北MAGIC委員会生徒が地域イベント運営に参加。 ・授業で地域企業や団体等との協力により、充実した活動ができた。 ・課題研究で校内のイルミネーションを題材にする班が2班。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が主体的に行っているわけではないため、生徒の回答結果が芳しくないと思う。 ●天野研究助成、湖北MAGIC活動を通して、地域社会や企業と絡んでいきたい。 ○イルミネーションの実施 ○地域イベントへの出店 ○アマンノ科学教室の共催 ○地域企業との連携 ●地域に関わる生徒が限定的である。 ●教員間の目的の共有と連携
ク	家庭や地域と連携した、開かれた学校づくりの	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験入学や学校説明会の内容に満足した」と 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日体験入学94.5% ・オープンスクール 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○体験入学はおおむね例年通り満足してもらえている。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
	推進	回答する中学生 95%以上。	10月 100% 11月 100%		●10月に初めて行ったOSは約120名、11月は約70名の参加者(アンケート回答者)があった。例年より参加人数が減った部分はあるが、入学者に対して参加有無の調査をしていき、今後の改善つなげたい。
		・文化祭、体育大会等における保護者・地域住民の参加年延べ500人以上。	・学校行事への保護者来校者数については、駐車場の制約がある中でも600人以上の来校者を迎えることが出来た。 ・来校者や電話応対等の場面で、適切な言動を取ることができた。	A	○学校行事の開催に関して、保護者には文書とメールで案内を実施し、情報管理課の協力を得て状況のライブ中継を行い、多くの保護者の方に視聴していただいた。 ○相手との信頼関係を築くことができており、大きなトラブルもなく円滑に業務を進めることができた。引き続き丁寧な対応を行っていききたい。
		・ホームページ更新週3回以上。	・学校のホームページは見やすく、定期的に更新されている。72% ・ホームページ更新103回(部活動・学科の更新を含む)、平均2.9回/週の更新であった。 ・部活動の主な大会結果をホームページへ掲載できた。	B	○ホームページ更新だけでなく、体育祭のYouTube live配信なども活用した。アクセス数が279に達した。 ○ホームページシステム変更に伴い、デザイン、マニュアルなどを新たに作成した。移行期に思うように更新できずもどかしかった。 ○部活動のホームページ更新率は、ここ3年で42.9%→71.4%へ大幅に改善した。
ケ	教職員の資質・能力の1向上	・「先生方はICTの活用など、教材や教え方に様々な工夫をしている」と回答する生徒90%以上。(再掲)	・先生方はICTの活用など、教材や教え方に様々な工夫をしている。83%	B	●様々な場面で活用しているが、授業の多くでICTを活用しきれていない部分もある。ペーパーレスの経費削減にもなるため、活用できる部分を増やしていく。 ●若い先生方を中心にしてBYODを含むICTの活用度が高まっているが、年配の先生方の中では抵抗を感じている話を聞く。無理をして使うことは無いにしても、総合探究やLHR等での活用も視野に入れて、より多くの先生方に使い方を身に付けてもらう環境作りをしていきたい

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
					<p>い。</p> <p>○クロームブックの導入により、各方面でICTの活用機会が増えた。引き続き効果的な利用方法を考えていく必要がある。</p> <p>○ICT機器を活用し、授業のさまざまな場面で工夫することができた。</p> <p>●芸術Ⅰは1学期のみ期末テストを音美書3教科で統一して実施し、評価の共通化を図っている。観点別評価による実技評価、取組の総合的な評価方法の明確化、可視化が課題。</p> <p>●生徒所有のBYOD端末の積極的活用を目指し、実習テキストのペーパーレス化、課題の提出システムの構築を考えていきたい。</p> <p>○授業プリント教材、テスト問題の共有がすすんだ。また、評価に関連する課題等をシラバスに明記し、定期テストに加えて多面的な資料で評価できた。</p> <p>●百問繚乱での採点を導入したが、問題作成や評価に時間がかかっている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 授業参観週間を年2回実施し、生徒の授業アンケート等を分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観週間年2回、授業アンケートの分析を実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観週間での教員間アンケートの結果を職員会議で共有した。 授業アンケートを分析して、授業改善に繋がった。
		<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に対応する校内研修会を年2回以上実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修会3回実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士による授業参観において、指導方法に工夫をされている先生のやり方を自分の授業に合わせて実践することにより、また、「共感的な生徒指導」や「発達特性の理解と生徒支援（指導）」などの講習を通して個に応じた指導力が高まっている。
		<ul style="list-style-type: none"> 通勤途中における職員の交通加害事故ゼロ。 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤途中における職員の交通加害事故ゼロ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 機会を捉え、交通事故の他、コンプライアンスの啓発を行った。
コ	教職員の業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> 業務の改善をした教員90%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の改善をした教員100% ペーパーレス化に 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への取り組みの内容改善や、PTAの協力体制が大きく向上す

取組目標	成果目標	達成状況	評価	○成果と●課題
		より業務の改善をした教員 87.1%。 ・BYOD環境を構築。 ・業務を見直すことにより、時間外勤務を削減することができた。		○成果と●課題 ることが出来た。 ●情報発信の手段として学校HPを更に活用して行きたい。 ○各担当箇所、業務改善ができないかを考えて取り組んでいった。担当箇所によっては負担の偏りもあるため、次年度は業務精選を行い、バランスをとる。 ○全教員が業務の改善を意識して取り組んだ。また、個別や会議において改善について話をした。 ○図書委員会・放送委員会とも、各種当番を完遂し、司書の業務改善に貢献した。 ○教員にもChromebookを配布し、BYODの円滑な活用ができた。 ●ペーパーレスが当たり前になり、業務改善したと感じる教員が減ったか。 ○根拠法令や関係書類を添付することにより、起案者以外の職員がスムーズに書類を確認し、適正な事務処理を行うことができた。 ○業務量の削減や平準化により、特定の職員のみ多忙にならないよう組織として対応できた。
	・各課、学科において、業務改善について協議する機会を設ける。	・分掌会議等において協議をした。 ・起案文書への根拠法令等を添付することで、法令を遵守した事務処理ができた。		

【分校】（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 節度ある生活態度の実践を図り、行事や部活動の充実を図る。	・挨拶や場面に応じた言葉遣いをしていてと答える生徒 85% ・行事や部活動に積極的に取り組んだと答える生徒 85% ・節度をもって、誠実に生活していると答える生徒 85%	・挨拶や場面に応じた言葉遣いをしていてと答えた生徒 98% ・行事や部活動に積極的に取り組んだと答えた生徒 98% ・節度をもって、誠実に生活していると答えた生徒 96%	A	・登校時、校門での一礼から学校生活が始まり、教員・学年の上下・中学生の区別なく挨拶ができています。また、場面に応じた言葉遣いも日常生活指導や進路指導を通して学年が上がるにつれてできるようになっている。 ・行事や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる。佐久間にしかない温かい雰囲気のある行事や一人ひとりが輝く部活動となっている。 ・生徒指導上の大きな問題はなく、誠実に生活できている。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた言葉遣いは、できないより知らないことが多いと感じる。そのため、タイミングをとらえて教えることや教員自身が丁寧な言葉遣いや誠実に対応していくことが重要だと考える。
イ	<p>個に応じた指導の在り方を確立する。 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で困ったり悩んだりした時に教員が親身になってくれると答える生徒 80% ・生徒の抱える悩みに応えられる適切な指導が行われていると答える保護者 80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で困ったり悩んだりした時に相談できる教員がいると答えた生徒 94% ・生徒の抱える悩みに応えられる適切な指導が行われていると答えた保護者 84% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートやカウンセラーの活用で問題の早期発見・早期対応ができた。また、面談等を通して得た情報を教員間で共有することができた。さらに必要に応じて保護者とも連携を図ることができた。 ・カウンセラーの案内を学期初めに連絡することができた。 ・生徒が抱える悩みが多様化してきている。その中でもコミュニケーションに課題がある生徒が増加傾向にある。そのため、課題を抱える生徒本人だけでなく周りの生徒が悩みや困り感をもつケースが増えてきている。双方に支援が必要だと感じる。 ・いつでも相談ができる環境、悩みを打ち明けられる環境の整備に努める。
ウ	<p>授業や総合的な探究の時間で生徒の発信力を高める活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の発表活動や探究の発表会をとおして、自分の考えを伝える力が高まったと答える生徒 85% 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の発表活動や探究の発表会をとおして、自分の考えを伝える力が高まったと答える生徒 90% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら設定した課題に取り組むことで、主体的な探究学習を行うことができた。また、自分の考えがより伝わりやすくするにはどうしたらよいかを意識しながら発表を行うことができた。 ・学習を行う中で、課題設定や情報収集の方法、テーマの深め方といった探究の手法を概論的に学ぶ機会を設ける必要性を感じる。
エ	<p>授業に真剣に主体的に取り組む態度を育成するとともに、「分かる・学力が付く授業」を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組むことができたと答える生徒 85% ・「授業が分かる」と答える生徒 95% ・「学力が付いた」と答える生徒 95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組むことができたと答えた生徒 98% ・「授業が分かる」と答えた生徒 98% ・「学力が付いた」と答えた生徒 96% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況や学習上の躓きを教員間で共有しながら、生徒がより主体的、積極的に授業に取り組むことができるよう、各科目で工夫をしながら取り組むことができた。
	<p>丁寧で手厚い教育の成果がより反映される体制を構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様性に応じた教育に関する知識・理解が高 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様性に応じた教育に関する知識・理解が高まった 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒の表れへの対応について、研修を通して概論的に学ぶとともに

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	する。	まったと答える教員 70%	と答えた教員 100%		に、教員間での情報共有や相談を通して個別の状況への対応を行うことができた。 ・生徒の多様性に応じた指導は個々のケースで異なるので、それぞれに適切に対応できるように、教員間の連携をさらに高めていく。
	学びを深めることができる読書環境を整備する。	・図書館は、学びを深めることができるように整備されていると答える生徒 60%	・図書館は、学びを深めることができるように整備されていると答えた生徒 54%	C	・購入図書アンケートを活用するなどして、生徒の関心に合わせた図書や学びに必要な図書を選定・配架している。 ・予算が限られ、司書も不在の中、長期的な視点で、必要な図書を選定していくことが課題。
オ	高い志の育成に努め、生徒の進路希望の実現を図る。	・進路対策に満足していると答える生徒 80% ・進路について校内 web サイトが役立ったと回答した生徒 80% ・就職内定率 100%	・進路対策に満足していると答えた生徒 92% ・進路について校内 web サイトが役立ったと回答した生徒 88% ・就職内定率 100%	A	・各生徒の進路希望に応じたきめ細かな指導を学校全体で実施することができた。 ・進路室利用ガイダンスを実施することで、生徒の利用促進と進路意識の高揚を図ることができた。 ・校内 web サイトについて、掲載内容が更新されたタイミングで HR 担任等を通じて生徒に周知することで、生徒のより効果的な活用を促していく。 ・就職希望者への進路指導について、就職後の生徒と企業とのミスマッチを未然に防ぐため、複数の企業見学を促す指導をより工夫していく。
カ	ICT等を活用した授業や会議等を行うことにより、教育の質を維持する。	・教員は授業の教材や教え方に様々な工夫をしていると答える生徒 90%	・教員は授業の教材や教え方に様々な工夫をしていると答えた生徒 100%	A	・先進的な実践を行っている教員の活用方法を教員間で共有するなどして、場面に応じた ICT の活用に積極的に取り組むことができた。
	外部人材の活用を充実させる	・外部講師の授業により、多様な学びができ、理解が深まったと答える生徒 80%	・外部講師の授業により、多様な学びができ、理解が深まったと答えた生徒 96%	A	・「地域」の授業や総合的な探究の時間などの外部講師との交流を通して、生徒自身が視野を広げることができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	広報の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等校外メディア掲載 15回 ・一日体験入学に参加して学校の理解が深まったと答える中学生 80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等校外メディア掲載 31回 (R6.4～1) ・一日体験入学に参加して学校の理解が深まったと答えた中学生 88% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校外メディアへの情報提供を積極的に行うことで、多く取り上げていただき、幅広い層に広報ができた。 ・学校ホームページの全面刷新、インスタの活用、一日体験入学を通して、中学生とその保護者に学校の魅力を伝え、必要な情報を提供することができた。 ・引き続き、学校の魅力、学校選択に必要な情報を随時発信していく。
キ	地域等との関わりを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事やボランティア活動に関わった生徒 80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動（行事）やボランティア活動に関わった生徒 74% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に積極的に参加する生徒も多く見られた。また、部活動単位でボランティアに参加しているところもある。 ・週末に部活動に参加している生徒が多く、帰宅する寮生・下宿生もいる。部活動の生徒や寮生・下宿生が日程を調整して参加しやすくなるよう、計画的に参加を呼び掛けていく。
ク	学校設定教科「地域」の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域」の授業をとおして、様々な視点から地域の課題を考察することができたと答える生徒 80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域」の授業をとおして、様々な視点から地域の課題を考察することができたと答える生徒 95% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの講師に来校いただいたほか、地域の店舗や行政の皆様など多くの方々から支援いただき、多様な視点から地域の魅力や課題、その解決方法を学び考えることができた。
ケ	中高の行事交流等を充実させ、中高の一体感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・交流行事がよかったと答える中高生 90% ・交流行事がよかったと答える教員 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流行事がよかったと答えた中高生 99% ・交流行事がよかったと答えた教員 100% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事日程や休校などの都合で、今年度は中学生の発表を参観する機会が得られなかったが、交流会や体育祭などでは、中学・高校生が積極的に取り組み、充実した交流が行えた。 ・次年度は行事等の調整をし、より多くの場面で中高の交流が図れるようにする。
コ	安全安心な学校環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の改修改善による安全安心の確保に努めていると答える保護者 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の改修改善による安全安心の確保に努めていると答える保護者 89% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外の安全性と屋内の学習環境確保のため照明設備を中心に予算内で修繕を行った。 引き続き改修改善に努める。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
サ	業務の効率化、見直しにより、業務負担の軽減を図る。	・時間外勤務 年 540 時間以内 8人以上	・時間外勤務 年 450 時間以内 9人 (R6.4~R7.1)	B	・今年度より設定した 20 時の完全退庁時間、文書取扱事務の見直しによる簡素化等により、時間外勤務の減少傾向がみられる。 ・時間外勤務の一層の削減に向け、業務の見直しを続ける。

(2) 本年度の取組目標・達成方法・成果目標

【本校】（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教材や教え方の工夫等により基礎・基本の定着を促し、関心・意欲を高める授業を実施する。 ・小テスト、課題等により家庭学習習慣の定着を図る。 ・授業で効果的に ICT 機器や BYOD 情報端末を活用するために、機器・環境等を管理し、研修・研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業で「できた」「わかった」と感じる場面がある」と答える生徒 80% 以上。 ・家庭学習時間一日平均 45 分以上。 ・「授業で BYOD 情報端末等を活用できた」と答える生徒 100%。 	教務課 研修課 全教科
イ	望ましい勤労観・職業観の育成と主体的に自己実現を図る力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職場見学、インターンシップ、外部講師による進路講話等を計画的に実施する。 ・進学補講、進学や就職のための面接・小論文指導、資格取得のための各種講座を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の進路実現のために進路指導の行事に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒 80% 以上。 ・高度な資格検定にチャレンジする生徒の増加。 	進路課 全学年
ウ	読書活動の推進と読書習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝 10 分間の朝読書を徹底し、定着を図る。 ・図書委員会を活性化し、図書館だよりの発行や、良書の紹介活動、「ビブリオバトル」等の読書活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本の生徒 1 人当たりの平均貸出冊数 5 冊以上。 ・「読書習慣が身につけている」と答える生徒 80% 以上。 	図書課
エ	基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動等により挨拶と基本的生活習慣の確立を図る。 ・スマートフォンや SNS の使用時間や情報モラル等について日常的に指導する。 ・授業開始前や昼休み巡視、服装頭髪指導等により服装・頭髪等の指導を徹底する。 ・交通法規を周知し、登下校指導等により交通ルールの徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校や地域で気持ちの良い挨拶ができる」と答える生徒 90% 以上。 ・「スマートフォンや SNS の使用時間や情報モラル等の学校や家庭での決まりを守って利用している」と答える生徒 90% 以上。 ・重大な交通事故ゼロ。 	生徒課 全職員
オ	学校行事と部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、体育大会等の学校行事において、生徒の自主的・自発的な活動を支援する。 ・生徒の主体的な活動を尊重するとともに指導方法を工夫し、主体性、協調性、チームワーク等を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校行事に積極的に取り組んだ」と答える生徒 90% 以上。 ・「部活動でやりがいを感じる場面がある」と答える生徒 85% 以上。 ・「年度当初に立てた各部 	生徒課 全職員 全部活動

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
			活動の目標を達成できた」と答える生徒70%以上。	
カ	安心・安全で活気ある学校生活を送るための教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 校内防災訓練、生徒自主防災訓練を通して防災意識を高める。 非常用品（飲料水、食料、防寒シート等）の整備と非常用具の点検を定期的に行う。 地域防災訓練への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「非常時の行動に対する意識が高まった」と答える生徒90%以上。 	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> 保健だよりの配布や授業での指導を徹底し、ケガや病気の予防に努める。 いじめに関するアンケート、日常の観察と情報交換により明るく相談しやすいクラスや集団作りを行う。 校内外の相談体制と特別支援体制を整備し、困難を抱える生徒を組織的に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に大きなケガをした生徒ゼロ。 「困ったことや悩みごとを相談できる人がいる」と回答する生徒90%以上。 	保健課 生徒課 全教科員 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別、清掃用具の整備を徹底し、きれいな校舎を維持する。 校舎内外の施設の点検と整備を月1回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の美化に努めている」と回答する生徒85%以上。 	保健課 事務部
キ	地域社会に求められる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 企業や地域、大学等と連携する授業や湖北MAGIC活動の充実を図り、伝統認識を深め、「行きたい学校づくり」を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業や湖北MAGIC活動で、企業や地域、大学等と連携した活動を行っている」と回答する生徒80%以上。 	湖北MAGIC 全教科
ク	家庭や地域と連携した、開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 中学校への出前授業や進路講話に積極的に参加し、本校の魅力をアピールする。 年3回の中学生対象の体験入学や学校説明会を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「体験入学や学校説明会の内容に満足した」と回答する中学生95%以上。 	教務課 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育方針や教育活動をホームページや配布物を通してタイムリーにわかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ年間閲覧数73,000回以上。 	情報管理・広報課 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの運営を充実し、地域ぐるみで取り組む教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールでいただいた意見を学校内外で共有する。 	管理職 全職員
ケ	教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着度合いや主体的・対話的で深い学びについて研究し、授業改善を図る。 外部研修会への積極的な参加を促す。 教育課題に対応する校内研修会を実施する。 生徒がBYOD情報端末等のICTを活用する授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「先生方はICTの活用など、教材や教え方に様々な工夫をしている」と回答する生徒90%以上。 授業参観週間や、生徒の授業アンケート等の分析により、授業改善を図る。 	研修課 情報管理・広報課 全教科員 管理職
		<ul style="list-style-type: none"> 研修会や朝の打ち合わせを 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤途中における職員の 	管理職

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		利用した啓発活動を通して、使命感や倫理観、人権意識を醸成する。	交通加害事故ゼロ。	全職員
コ	教職員の業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> 業務の精査、改善、校務のDX化を推進する。 各課、学科において、業務改善について協議する機会を設ける。 	業務の改善をした教員90%以上。	管理職 全職員

【分校】（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	節度ある生活態度の実践を図り、行事や部活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な指導を通して節度ある学校生活と学校生活への積極的な取り組みを促すとともに、問題行動の未然防止に努める。 生徒会への指導を通して充実した行事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や場面に応じた言葉遣いをしていると答える生徒85% 行事や部活動に積極的に取り組んだと答える生徒85% 節度をもって、誠実に生活していると答える生徒85% 	生徒保健 学年
イ	個に応じた指導の在り方を確立する。 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各学期の面談、カウンセラー面談、いじめ等に関するアンケートなどを通して生徒の変化を把握するとともに、職員間で情報交換を密に行い、連携して対応する。 生徒の主体的な成長・発達を支える働きかけに関する教員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活で困ったり悩んだりした時に教員が親身になってくれると答える生徒80% 生徒の抱える悩みに応えられる適切な指導が行われていると答える保護者80% 生徒の主体的な成長・発達を支える働きかけに関する知識・理解が高まったと答える教員70% 	生徒保健 学年 教務 (研修担当) 教科
ウ	授業や総合的な探究の時間で生徒の発信力を高める活動をする。	授業や総合的な探究の時間内での発表の機会をつくり実施する。	授業の発表活動や探究の発表会をとおして、自分の考えを伝える力が高まったと答える生徒85%	教科 総探の時間 委員会 (教務)
エ	授業に真剣に主体的に取り組む態度を育成するとともに、「分かる・学力が付く授業」を実践する	研究授業、公開授業、学びの基礎診断、生徒による授業評価を通して授業改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 授業に主体的に取り組むことができたと答える生徒85% 「授業が分かる」と答える生徒95% 「学力が付いた」と答える生徒95% 	教務 教科
	学びを深めることができる読書環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・分掌等と連携し、主体的学び、情報収集に必要な図書を選定を行う。 図書委員会への指導を通して、計画的に図書貸出等を実施する 	図書館は、学びを深めることができるように整備されていると答える生徒60%	総務図書
オ	高い志の育成に努め、生徒の進路希望の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 多様な進路希望に対応できる進路指導の充実を図る。 進路の手引き等、生徒一人ひとりに対する進路実現に必要な情報を提供する。 放課後及び休業中の進学補講を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路対策に満足していると答える生徒80% 進路についての情報が役立ったと回答した生徒80% 第一希望の進路実現が果たせた生徒90% 	進路
カ	ICT等を活用した授業や会議等を行うことにより、教育の質を維持する	<ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末やグーグルクラスルーム等を授業や課題提示に活用する。 遠隔システムを利用した授業及びテレビ会議や生徒交流などを行う。 	教員は授業の教材や教え方に様々な工夫をしていると答える生徒90%	教務（情報担当）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	外部人材の活用を充実させる	・通常の授業では学べない分野について外部講師による授業を行う。	・外部講師の授業により、多様な学びができ、理解が深まったと答える生徒80%	教務
	広報の充実を図る。	・新聞等校外メディアへの情報提供を行う。 ・学校ホームページ・インスタグラム・「佐高だより」の地域回覧、一日体験入学等を活用し、学校の情報・魅力を発信する。	・新聞等校外メディア掲載15回 ・一日体験入学に参加して学校の理解が深まったと答える中学生80%	管理職 総務図書 教務
キ	地域等との関わりを深める。	・地域行事やボランティア活動への積極的参加を促す。	・地域行事やボランティア活動に関わった生徒80%	管理職 生徒保健
ク	学校設定教科「地域」の充実を図る	・本校・地元大学・地域等、多様な人々・機関等との交流や連携の機会を計画的に創出する。	・「地域」の授業をとおして、様々な視点から地域の課題を考察することができたと答える生徒80%	「地域」担当委員会 (和田)
ケ	中高の行事交流等を充実させ、中高の一体感を高める。	・中学校教員との意見・情報交換や合同研修等を通して、中高で課題を共有・整理しながら、交流授業・交流行事を実施する。	・交流行事がよかったと答える中高生90% ・交流行事がよかったと答える教員90%	教務 生徒保健
コ	安全安心な学校環境の整備に努める。	・学期1回の職員点検等、施設・設備を定期的に点検し、その情報を職員間で共有するとともに、必要な改修や改善を計画的に行う。 ・防災訓練を計画的に実施するほか、地域防災への参加を促すなど、防災を学ぶ機会を創出する。	・施設・設備の改修改善による安全安心の確保に努めていると答える保護者90% ・防災訓練、地域防災への参加等、防災に関する教育活動や適切な指導が行われていると答える生徒90%・保護者90%	事務 生徒保健 総務図書
サ	教職員の働き方改革を進める。	・業務の効率化・縮減等により業務負担の軽減を図るとともに、毎日の完全退庁時間や毎月の定時退勤日を設定する。	・時間外勤務 年540 時間以内8人以上	全教職員 管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

【本校】

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	1 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成 (1) 挨拶運動等により始業時間と挨拶の徹底を図る。また、スマートフォン利用等について日常的に指導する。 (2) 授業開始前や昼休み巡視、服装頭髪指導等により服装・頭髪等の指導を徹底する。また、交通講話や委員会・PTAと連携した登校指導等により交通ルールの徹底を図る。	(1) 昇降口での挨拶運動を継続して行った。よく挨拶ができており、遅刻は少なく、基本的な生活習慣は身につけている。 携帯電話の校内での利用やSNS使用のルールについて、継続して指導を行った。ルールが守れない生徒がいるため、適時、指導をしている。 (2) 昼休み中の巡回指導、頭髪服装指導を継続して徹底した。 交通講話は学年ごとに実施する。交通委員とPTAが連携した交通指導を予定どおり実施する。
	2 学校行事と部活動の活性化 (1) 文化祭・体育大会等の学校行事において、生徒の自主的・自発的な活動を支援する。 (2) 生徒の自主的な活動を尊重するとともに指導方法を工夫し、主体性、協調性、チームワーク等を育てる。	(1) 文化祭・体育大会は内容を工夫して実施した。生徒会を中心に趣向を凝らした企画が運営できた。 (2) 令和6年度は陸上競技部が全国大会への出場を獲得した。学校全体で部活動の活性化を図った。
	3 家庭・地域社会と連携した、開かれた学校づくりの推進	(1) 地域の企業・大学及び施設と連携し、普通科・農業科・工業科・商業科

年度	取組概要	成果及び課題
	<p>(1) 地域の企業・大学及び施設と連携し、授業や「湖北MAGIC活動」の内容を一層充実させる。</p> <p>(2) 中学校への出前授業や進路講話に積極的に参加し、本校の魅力をアピールする。</p> <p>(3) 年3回の中学生対象の体験入学やオープンスクールを充実する。</p> <p>(4) 学校行事の保護者・地域住民への公開を一層進め、本校のよさを理解してもらえるように努める。</p> <p>(5) 本校の教育方針や教育活動をホームページや配布物を通してタイムリーにわかりやすく伝える。</p>	<p>の授業や「湖北MAGIC」活動で、外部講師による講義、企業取材、地域貢献活動等を行った。</p> <p>(2) 中学校から出前授業や進路講話の希望があり、実施した。 近隣中学校3年生全員に学校の様子を知ってもらうために、学校祭や学校案内の配布を依頼した。</p> <p>(3) 夏季休業中の中学生一日体験入学では、中学生490人とその保護者298人の参加であった。4つの大学科の模擬授業と部活動見学を行った。 10月と11月に中学生とその保護者を対象としたオープンスクールを開催する。</p> <p>(4) 学校内の活動の様子は、随時ホームページを更新し公開した。</p>
令和7年度	<p>1 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成</p> <p>(1) 挨拶運動等により始業時間と挨拶の徹底を図る。また、スマートフォン利用等について日常的に指導する。</p> <p>(2) 授業開始前や昼休み巡視、服装頭髪指導等により服装・頭髪等の指導を徹底する。また、交通講話や委員会・PTAと連携した登校指導等により交通ルールの徹底を図る。</p> <p>2 学校行事と部活動の活性化</p> <p>(1) 文化祭・体育大会等の学校行事において、生徒の自主的・自発的な活動を支援する。</p> <p>(2) 生徒の自主的な活動を尊重するとともに指導方法を工夫し、主体性、協調性、チームワーク等を育てる。</p> <p>3 家庭・地域社会と連携した、開かれた学校づくりの推進</p> <p>(1) 地域の企業・大学及び施設と連携し、授業や「湖北MAGIC活動」の内容を一層充実させる。</p> <p>(2) 中学校への出前授業や進路講話に積極的に参加し、本校の魅力をアピールする。</p> <p>(3) 年3回の中学生対象の体験入学やオープンスクールを充実する。</p> <p>(4) 学校行事の保護者・地域住民への公開を一層進め、本校のよさを理解してもらえるように努める。</p> <p>(5) 本校の教育方針や教育活動をホームページや配布物を通してタイムリーにわかりやすく伝える。</p>	<p>(1) 昇降口での挨拶運動を継続して行う。よく挨拶ができており、遅刻は少なく、基本的な生活習慣が身についくことが期待される。 携帯電話の校内での利用やSNS使用のルールについて、継続して指導を行う。</p> <p>(2) 昼休み中の巡回指導、頭髪服装指導を継続して徹底する。 交通講話は学年ごとに実施する。交通委員とPTAが連携した交通指導を予定どおり実施する。</p> <p>(1) 文化祭は、生徒会を中心に趣向を凝らした企画が運営できた。体育大会は新たな生徒会長、生徒会を中心に準備を進めている。</p> <p>(2) 県大会やさらに上位の大会への出場を目指すなど、学校全体で部活動の活性化を図る。</p> <p>(1) 地域の企業・大学及び施設と連携し、普通科・農業科・工業科・商業科の授業や「湖北MAGIC」活動で、外部講師による講義、企業取材、地域貢献活動等を行う。</p> <p>(2) 中学校から出前授業や進路講話の希望に対して積極的に実施する。 近隣中学校3年生全員に学校の様子を知ってもらうために、学校祭や学校案内の配布を依頼していく。</p> <p>(3) 夏季休業中の中学生一日体験入学では、中学生333人とその保護者187人の参加であった。4つの大学科の模擬授業と部活動見学を行う。 10月と11月に中学生とその保護者を対象としたオープンスクールを開催する。</p> <p>(4) 学校内の活動の様子は、随時ホームページを更新し公開する。</p>

【分校】

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和6年度	<p>1 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。</p> <p>(1)各学期の面接週間、カウンセラーとの5分面談、いじめ等に関するアンケートにより、生徒の状況を把握する</p> <p>(2)職員間で情報交換を密に行い、連携して対応する。</p>	<p>(1) 生活リズムや発達に課題を抱え、対応を必要とするケースが増加しており、これまで以上に、連携して多くの目で見ながら対応にあたる。</p> <p>(2)多様化する生徒の悩みに対して、保護者や中学校・SC・特別支援学校など多くの人や機関と連絡を密にして効果的な指導を進める。</p>
	<p>2 「分かる・学力が付く授業」を実践し、生徒の進路希望の実現を図る。</p> <p>(1) 研究授業、公開授業及び生徒による授業評価により授業改善を行う。</p> <p>(2) 多様な進路希望に対して、計画的で丁寧な指導を行い、特に3年生には個別対策指導を充実させる。</p> <p>(3) 生徒の多様性に応じた教育に関する教員研修を計画的に実施する。</p>	<p>(1) 6月と11月の公開授業週間では、参観シートを用いて相互の研修に繋げるほか、生徒の多様性に応じた教育も推進する。</p> <p>(2) 1・2年生には毎日の自学ノート確認で学習習慣を確立、3年生進学希望者には、計画的補講、CUES部の自習支援、個別相談を行い進路希望の実現につなげる。就職希望者には、個別の面接練習を繰り返し行い、表現力の向上を図る。</p> <p>(3) 校内研修のほか、中高合同研修の場等を活用して、特別支援教育に係る職員の意識・理解を高める。</p>
	<p>3 地域と学校が連携し、能動的な学習活動を行い、生徒の主体性・創造力・対人関係力を高めて地域社会に貢献する人材の育成を図る。</p> <p>(1) 学校設定教科「地域」を設定し、地域について深く学ぶ中で多様な人材を活用した講義を実施する。</p> <p>(2) 学校設定教科「地域」を学ぶにあたり、大学との連携を図る。</p>	<p>(1) 学校設定教科「地域」において、多様な人材を活用した地域の文化・技術を学習する場を数多く設け、生徒が地域の課題に気づき、課題解決の方策を考え、実践するなど、地域社会に貢献する姿勢を育成する。</p> <p>(2) 静岡文化芸術大学との連携を図り大学教員による講義を年4回実施するほか、同校の大学生との交流も実施し、地域に対する学びを深める。</p>
	<p>4 佐水地区連携型中高一貫教育を推進し、郷土で育ち、連携で伸びる生徒を育成する。</p> <p>(1) 中高教員による授業交流を実施することで、6年間の指導体制を確立する。</p> <p>(2) 中高の生徒交流を実施することで、多様な人間関係構築につなげる。</p> <p>(3) 中高合同職員研修会を実施することで、各校及び地域の教育内容や課題を共有する。</p>	<p>(1) 佐久間分校から佐久間中学校に対しては、4教科、週12時間、水窪中学校に対しては3教科、週9時間をティームティーチングとして授業交流を実施するとともに、佐久間中学校から佐久間分校に対しては4教科、週12時間実施し、中高一貫教育の推進を図る。</p> <p>(2) 高校授業への中学生参加、中高レクリエーション交流、中高合同新体力テストを実施するほか、佐久間中学校との合同体育祭、防災訓練を実施し、生徒の交流の輪を広げる。</p> <p>(3) 合同職員研修会を2回実施し、佐水地区中高連携を推進する。</p>
令和7年度	<p>1 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。</p> <p>(1)各学期の面接週間、カウンセラーとの5分面談、いじめ等に関するアンケートにより、生徒の状況を把握する</p> <p>(2)職員間で情報交換を密に行い、連携して対応する。</p>	<p>(1) 職員室での情報共有を積極的に行い連携して多くの教職員の目で見ながら対応にあたる。</p> <p>(2)多様化する生徒の悩みに対して、保護者や中学校・SC・SSW・特別支援学校など多くの人や機関と連絡を密にして効果的な指導を進める。</p>
	<p>2 「分かる・学力が付く授業」を実践し、生徒の進路希望の実現を図る。</p> <p>(1) 研究授業、公開授業及び生徒による授</p>	<p>(1) 6月と11月の公開授業週間では、参観シートを用いて相互の研修に繋げるほか、生徒の多様性に応じた教育も推</p>

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	<p>業評価により授業改善を行う。</p> <p>(2) 多様な進路希望に対して、計画的で丁寧な指導を行い、特に3年生には個別対策指導を充実させる。</p> <p>(3) 生徒の多様性に応じた教育に関する教員研修を計画的に実施する。</p>	<p>進する。</p> <p>(2) 1・2年生には毎日の自学ノート確認で学習習慣を確立、3年生進学希望者には、計画的補講、CUES部の自習支援、個別相談を行い進路希望の実現につなげる。就職希望者には、個別の面接練習を繰り返し行い、表現力の向上を図る。</p> <p>(3) 校内研修のほか、中高合同研修の場等を活用して、特別支援教育に係る職員の意識・理解を高める。</p>
	<p>3 地域と学校が連携し、能動的な学習活動を行い、生徒の主体性・創造力・対人関係力を高めて地域社会に貢献する人材の育成を図る。</p> <p>(1) 学校設定教科「地域」を設定し、地域について深く学ぶ中で多様な人材を活用した講義を実施する。</p> <p>(2) 学校設定教科「地域」を学ぶにあたり、大学との連携を図る。</p>	<p>(1) 学校設定教科「地域」において、地域の文化・技術を学習する場や外部機関との交流を通じて、生徒が地域の課題に気づき、課題解決の方策を主体的に考え、実践するなど、地域社会に貢献する姿勢を育成する。</p> <p>(2) 静岡文化芸術大学との連携を図り大学教員による講義を年4回実施するほか、同校の大学生との交流も実施し、地域に対する学びを深める。</p>
	<p>4 佐水地区連携型中高一貫教育を推進し、郷土で育ち、連携で伸びる生徒を育成する。</p> <p>(1) 中高教員による授業交流を実施することで、6年間の指導体制を確立する。</p> <p>(2) 中高の生徒交流を実施することで、多様な人間関係構築につなげる。</p> <p>(3) 中高合同職員研修会を実施することで、各校及び地域の教育内容や課題を共有する。</p>	<p>(1) 佐久間分校から佐久間中学校に対しては、4教科、週12時間、水窪中学校に対しては3教科、週9時間をティームティーチングとして授業交流を実施するとともに、佐久間中学校から佐久間分校に対しては4教科、週12時間実施し、中高一貫教育の推進を図る。</p> <p>(2) 中高レクリエーション交流、中高合同新体力テストを実施するほか、佐久間中学校との合同体育祭、防災訓練を実施し、生徒の交流の輪を広げる。</p> <p>(3) 合同職員研修会を2回実施し、佐水地区中高連携を推進する。</p>

5 教職員について

(1) 異動状況

【本校】

(単位：人)

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員					合 計				
	教育職員							行政職員				本務計	教諭	養護教諭	実習助手	非常勤講師		非常勤嘱託員	臨時等計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任									主事	小計
転出者				9			2	11		1		1	2	13		1				1	14
退職者				4				4						4	2			1		3	7
転入者				6		1		7		2	1		3	10							10
新任者				2			1	3						3	2		1	4		7	10
差引増減				△5		1	△1	△5		1	1	△1	1	△4	0	△1	1	3		3	△1

【分校】

(単位：人)

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員					合計		
	教育職員					行政職員					本務計	教諭	養護教諭	非常勤講師	非常勤労務職員		臨時等計	
	副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	主任	主任	主任技能員	小計	本務計								
転出者	1		2		3	1			1	4								4
退職者														4				4
転入者			1		1		1		1	2								2
新任者	1		2		3					3				4				7
差引増減	0		1		1	△1	1	0	0	1	0	0	0	0			0	1

(2) 現員数

【本校】

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

職名 区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員					合計			
	教育職員						行政職員						本務計	教諭	実習助手	ALT	非常勤講師		非常勤労務・嘱託員	臨時等計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任	技能長									小計
男	1	1	1	50				53	1	1	2	2	6	59	1	1	1	10	3	16	75
女				11	2	1	2	16		2	1		3	19	1			4	2	7	26
計	1	1	1	61	2	1	2	69	1	3	3	2	9	78	2	1	1	14	5	23	101

【分校】

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

職名 区分	本務職員										臨時・会計年度任用職員					合計	
	教育職員					行政職員					本務計	教諭	養護教諭	非常勤講師	非常勤労務職員		臨時等計
	副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	主任	主任	主任技能員	小計								
男	1	1	8		10	1	1		2	12	1		5	1	7	19	
女			2		2			1	1	3		1	4		5	8	
計	1	1	10		12	1	1	1	3	15	1	1	9	1	12	27	

(3) 健康管理について

- ア 生活習慣病健診、指定年齢健診、人間ドック、婦人科検診等への受診を徹底させることにより、疾病の早期発見及び早期治療に努める。
- イ 職員安全衛生委員会（分校：任意組織）を月1回開催し、職員の安全衛生上の懸案事項等を検証し、職場環境の維持及び改善を図る。
- ウ 健康維持、健康増進等に係る健康管理医からの指導及び助言を受けることにより、職員の心身の健康管理に関する意識の高揚を図る。
- エ 定時退勤日の設定と早めの帰宅の呼びかけにより、心身のリフレッシュを図る。

(4) 教職員の研修について

【本校】令和6年度

目 的	内 容	成果目標
授業の改善	(1) 教員相互による授業参観の実施 (2) 保護者、中学生とその保護者、地域住民等への学校公開の実施 (3) 生徒による授業評価の実施	(1) 6月、11月の年2回、教職員同士の授業見学週間を設定した。 BYOD機器の活用を観点にした授業展開を含めるとともに、新学習指導要領の趣旨に沿った生徒の学力向上を狙った。 (2) 夏季休業中の中学生一日体験入学では、中学生490人とその保護者298人の参加であった。4つの大学科の模擬授業と部活動見学を行った。 10月と11月に中学生とその保護者を対象としたオープンスクールを開催する。 (3) 10月に全校生徒を対象とした授業に関するアンケートを取り、授業改善に活用した。
資質能力の向上	(1) 悉皆研修の補助及び推進 (2) テーマ別校内研修の実施	(1) 2・3・6・7・8年次研修、中堅研修Ⅰ・Ⅱに13人の職員が該当した。校内でのチーム研修において、先輩教員と若手教員との情報交換を密にして、授業改善、ホームルーム経営、学年及び学校経営等について、充実した研修となるようにアドバイスをした。 (2) 定期訪問校内研修会で「発達支持的な生徒指導の充実」をテーマとした。「教員のための志望理由書指導に関する研修会」を夏季休業中に実施した。
不祥事根絶	(1) 職員研修会等の実施 (2) 啓発活動	(1) 県教委から通知された「懲戒処分の公表」、「コンプライアンス通信」を周知し、自分自身に置き換えて考える機会を持った。職員会議や朝の打ち合わせで時期を捉え、不祥事根絶資料を用いて研修を行った。 (2) 県教委から通知された「懲戒処分の公表」、「コンプライアンス通信」を周知し、適宜、交通安全の意識向上を図っている。

【本校】令和7年度

目 的	内 容	成果目標
授業の改善	(1) 教員相互による授業参観の実施 (2) 保護者、中学生とその保護者、地域住民等への学校公開の実施 (3) 生徒による授業評価の実施	(1) 6月、11月の年2回、教職員同士の授業見学週間を設定している。 授業におけるICT活用、生徒に対する合理的配慮等を狙った。 (2) 夏季休業中の中学生一日体験入学では、中学生333人とその保護者187人の参加であった。4つの大学科の模擬授業と部活動見学を行った。 10月と11月に中学生とその保護者を対象としたオープンスクールを開催する。 (3) 10月に全校生徒を対象とした授業に関するアンケートを取り、授業改善に活用する。
資質能力の向上	(1) 悉皆研修の補助及び推進 (2) テーマ別校内研修の実施	(1) 初任者研修、3・6・7・8年次研修、フォローアップ研修、中堅研修Ⅱ、キャリア開発研修に17人の職員が該当した。校内でのチーム研修において、先輩教員と若手教員との情報交換を密にして、授業改善、ホームルーム経営、学年及び学校経営等について、充実した研修となるようにアドバイスが行っている。 (2) 定期訪問校内研修会では昨年度に続き、「発達支持的な生徒指導の充実」をテーマに実施する。「教員のための小論文指導に関する研修会」を夏季休業中に実施した。
不祥事根絶	(1) 職員研修会等の実施 (2) 啓発活動	(1) 県教委から通知された「懲戒処分の公表」、「コンプライアンス通信」を周知し、自分自身に置き換えて考える機会を持った。職員会議や朝の打ち合わせで時期を捉え、不祥事根絶資料を用いて研修を行う。 (2) 県教委から通知された「懲戒処分の公表」、「コンプライアンス通信」を周知し、適宜、交通安全の意識向上を図っている。

【分校】令和6年度

目的	内容	成果と課題
授業の改善	(1) 教員相互による授業参観の実施 (2) 保護者、地域住民等への公開授業の実施 (3) 生徒による授業評価の実施	(1)(2)(3)授業公開及び授業アンケートを1、2学期それぞれ1回実施し、その結果をもとに指導方法の改善を図った。
資質能力の向上	(1) 悉皆研修の補助及び推進 (2) テーマ別校内研修（「特別支援教育について」）の実施	(1) 2年次研修（1名）、8年次研修（2名）、中堅職員研修（1名）を計画的に実施することができた。 (2) 生徒の多様性に応じた指導について実践事例にもとづいて情報交換等を行い、特別支援教育への理解を深めた。
不祥事根絶	(1) 職員研修会等の実施 (2) 啓発活動	(1) 前年度に引き続き、月1回コンプライアンス研修を実施し、不祥事根絶を徹底することができた。 (2) 「信頼にこたえる」や事例等を利用し随時啓発を行った。

【分校】令和7年度

目的	内容	成果目標
授業の改善	(1) 教員相互による授業参観の実施 (2) 保護者、地域住民等への公開授業の実施 (3) 生徒による授業評価の実施	(1)(2)(3)授業公開及び授業アンケートを1、2学期それぞれ1回実施し、その結果をもとに指導方法の改善を図る。
資質能力の向上	(1) 悉皆研修の補助及び推進 (2) テーマ別校内研修（「発達支持的生徒指導について」）の実施	(1) 初任者研修（1名）、3年次研修（1名）、6年次研修（2名）を計画的に実施し教員の資質能力の向上を図る。 (2) 生徒の多様性に応じた指導について実践事例にもとづいて情報交換等を行い、発達支持的生徒指導への理解を深める。
不祥事根絶	(1) 職員研修会等の実施 (2) 啓発活動	(1) 前年度に引き続き、月1回コンプライアンス研修を実施し、不祥事根絶を徹底する。 (2) 「信頼にこたえる」や啓発資料等を利用し随時啓発を行う。

6 防災対策について

【本校】令和6年度

目的	取組内容	成果と課題
防災意識の高揚と防災対応能力の育成	(1) 実践的な防災訓練の実施 ・避難経路の確認 ・集団下校班の責任者決定及び帰宅方法の確認等 ・三角巾を使った応急手当訓練 ・発電機の起動訓練 ・心肺蘇生法及びAED講習会 ・マンホールトイレの設置訓練 ・非常用品（非常食、飲料水、防寒シート等）と各機材の整備と点検 ・伝言ダイヤル117の利用訓練 ・安否確認メールの受信訓練 (2) 避難訓練の実施 ・4月は火災発生を想定した学年単位の避難訓練 ・9月は地震発生を想定した学年単位の避	(1) 年間3回ずつの全校防災訓練と生徒防災組織防災訓練を通じて、避難経路、災害発生時の家族との連絡方法、非常用品の確保などを確認し、防災への意識を高めた。 (2) 年3回の自主定期点検を通して、校内の危険個所の除去を行った。 (3) 地域防災訓練への積極的な参加を促した。浜松防災士会所属の地域防災指導員の協力による防災指導により、

	<p>難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月は1・2年合同の避難訓練 <p>(3) 防災管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主定期点検（5、9、1月） ・ 平時点検の実施（随時） <p>(4) 地域防災訓練への参加推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災の担い手となるように意識付けを行う。 	生徒の防災意識の向上が図られた。
--	--	------------------

【本校】令和7年度

目的	取組内容	成果目標
防災意識の高揚と防災対応能力の育成	<p>(1) 実践的な防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路の確認 ・ 集団下校班の責任者決定及び帰宅方法の確認等 ・ 三角巾を使った応急手当訓練 ・ 発電機の起動訓練 ・ 心肺蘇生法及びAED講習会 ・ マンホールトイレの設置訓練 ・ 非常用品（非常食、飲料水、防寒シート等）と各機材の整備と点検 ・ 伝言ダイヤル117の利用訓練 ・ 安否確認メールの受信訓練 <p>(2) 避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月は火災発生を想定した避難訓練 ・ 9月は地震発生を想定した避難訓練 ・ 3月は1・2年合同の避難訓練 <p>(3) 防災管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主定期点検（5、9、1月） ・ 平時点検の実施（随時） <p>(4) 地域防災訓練への参加推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災の担い手となるように意識付けを行う。 	<p>(1) 年間3回ずつの全校防災訓練と生徒防災組織防災訓練を通じて、避難経路、災害発生時の家族との連絡方法、非常用品の確保などを確認し、防災への意識を高める。</p> <p>(2) 年3回の自主定期点検を通して、校内の危険個所の除去を行う。</p> <p>(3) 地域防災訓練への積極的な参加を促す。浜松防災士会所属の地域防災指導員の協力による防災指導により、生徒の防災意識の向上を目指す。</p>

【分校】令和6年度

目的	取組内容	成果と課題
防災意識の高揚及び防災対応能力の育成	<p>(1) 防災教育</p> <p>ア 生徒に対する指導 避難経路の確認、自衛防災組織による任務内容等の把握、地区別生徒の確認、災害時の主体的行動の考察と実地体験</p> <p>イ 防災訓練等の指導</p> <p>(ア) R6.5.10 火災発生による避難訓練（中高）</p> <p>(イ) R6.9.6 地震発生による避難訓練（中高）、土砂災害・洪水を想定した避難訓練</p> <p>(ウ) R6.12.1 県下一斉地域防災訓練</p> <p>(2) 防災管理</p> <p>ア 消防計画に基づく設備等点検 8月、2月</p> <p>イ 防火責任者による平時点検の実施 随時</p> <p>ウ 危険個所について職員への聞き取り学期に1回</p> <p>(3) 地域との連携</p> <p>ア 地域防災会議への出席、地域の防災担当との協議</p>	<p>(1) 具体的な場面を想定した訓練・体験活動を取り入れた訓練を通して、生徒の防災意識を高め、主体的に対応できる力を身につけた。</p> <p>(2) 計画的に点検を行い、必要な措置をとることで、安全安心な環境を維持した。</p> <p>(3) 地域との情報共有を図り、災害時にスムーズに連携できるようにした。</p>

【分校】令和7年度

目的	取組内容	成果目標
防災意識の高揚及び防災対応能力の育成	(1) 防災教育 ア 生徒に対する指導 避難経路の確認、自衛防災組織による 任務内容等の把握、地区別生徒の確認、 災害時の主体的行動の考察と実地体験 イ 防災訓練等の指導 (ア) R6.5.10 火災発生による避難訓練(中高) (イ) R6.9.6 地震発生による避難訓練(中高)、土砂災害・洪水を想定した避難訓練 (ウ) R6.12.1 県下一斉地域防災訓練 (2) 防災管理 ア 消防計画に基づく設備等点検 8月、2月 イ 防火責任者による平時点検の実施 随時 ウ 危険個所について職員への聞き取り学期に1回 (3) 地域との連携 ア 地域防災会議への出席、地域の防災担当との協議	(1) 具体的な場면을想定した訓練・体験活動を取り入れた訓練を通して、生徒の防災意識を高め、主体的に対応できる力を身につける。 (2) 計画的に点検を行い、必要な措置をとることで、安全安心な環境を維持する。 (3) 地域との情報共有を図り、災害時にスムーズに連携できるようにする。

7 学校開放について

【本校】 該当なし

【分校】

(令和6年度)

施設名	種目等	利用日数	利用者数	摘要
運動場	グラウンドゴルフ大会	1日	73人	電気料利用者負担 0円
運動場	グラウンドゴルフ大会	1日	50人	電気料利用者負担 0円
武道場	伝統芸能「竜神の舞」	1日	12人	電気料利用者負担 118円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県立学校授業料等徴収条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） いじめ防止対策推進法

学 校 施 設 の 概 要

<本校>

1 面積及び所有区分

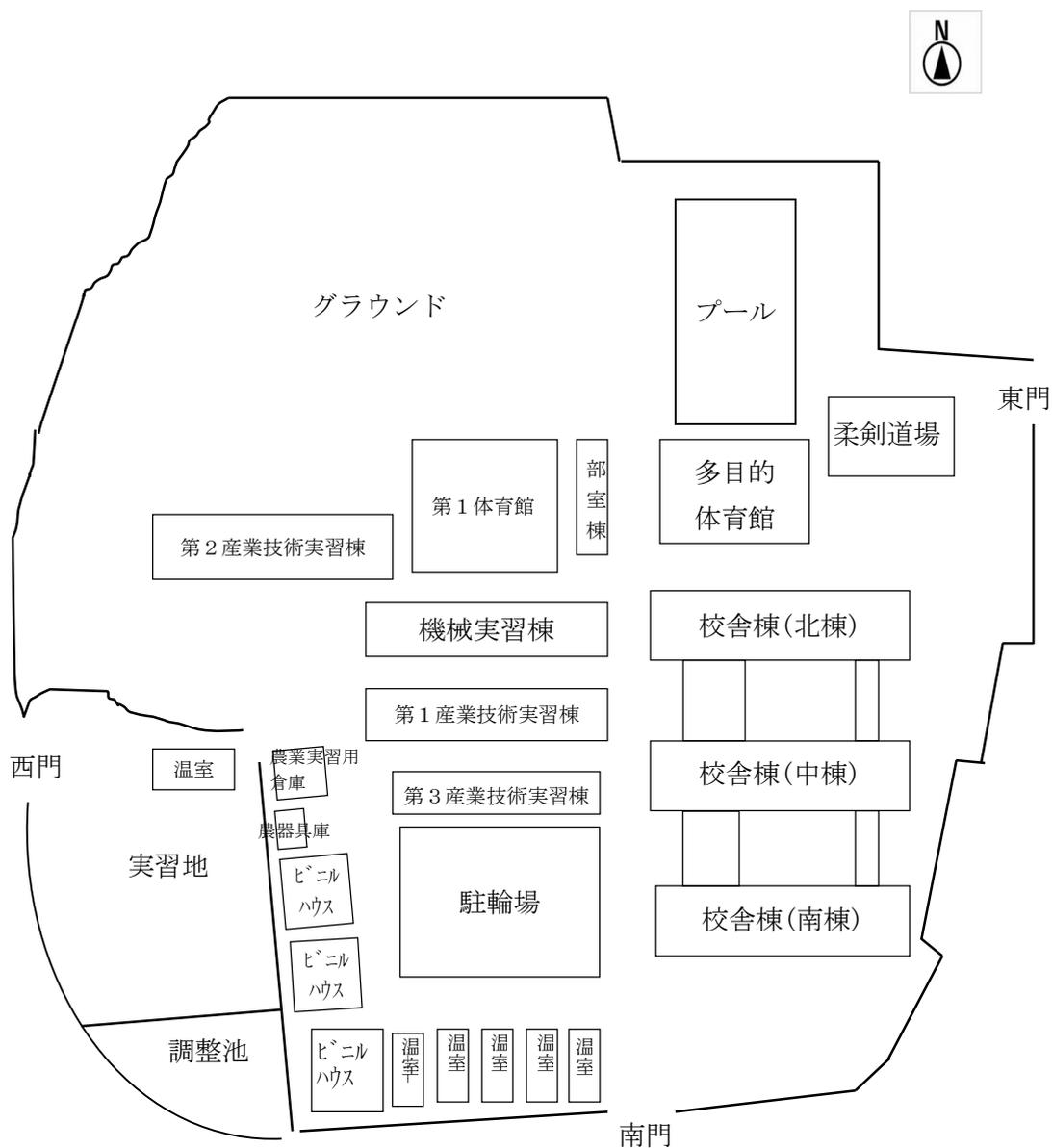
(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学 校 敷 地	59,534.11	59,384.11				150.00	
内 訳	校舎敷地	34,190.63	34,190.63				
	運動場敷地	24,795.48	24,645.48			150.00	
	その他の敷地	548.00	548.00				
実 習 地	11,924.11	11,881.98		42.13			
演 習 林	151,978.00	151,978.00					
校 舎	建 7,449.63	7,449.63					校舎棟（南・中・北棟） 第1～3産業技術実習棟 機械実習棟
	延 14,679.21	14,679.21					
体 育 館	建 2,310.68	2,310.68					
	延 2,225.28	2,225.28					
武 道 場	建 567.00	567.00					
	延 567.00	567.00					
その他の建物	建 729.51	729.51					
	延 812.94	812.94					
プ ー ル	830.00	830.00					50m×16.6m (8コース)

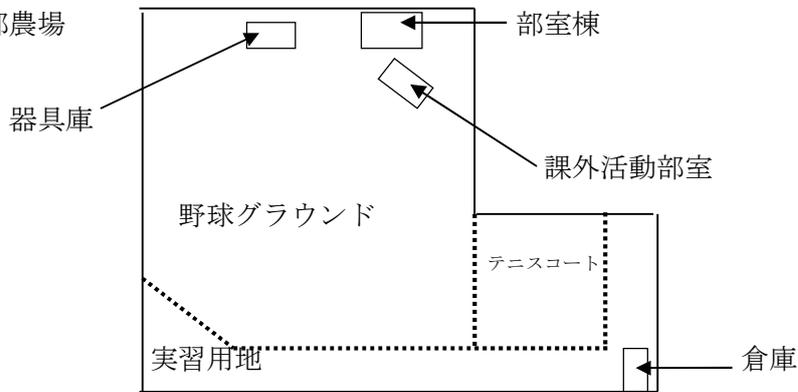
2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図

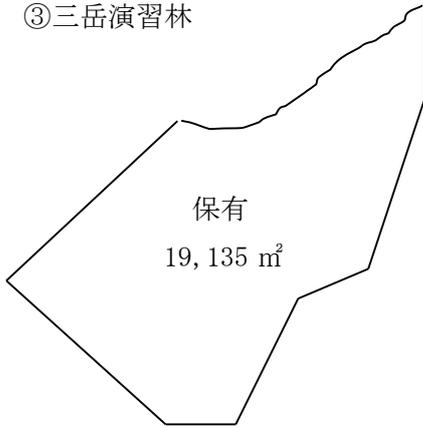
①本敷地



②南部農場



③三岳演習林



④滝沢演習林



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く。）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	59,534.11 m ²	14,679.21 m ²	24,795.48 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

学 校 施 設 の 概 要

〈分校〉

1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	59,277.59	59,277.59					
内 訳	校舎敷地	13,101.17	13,101.17				
	運動場敷地	33,185.42	33,185.42				
	その他の敷地	12,991.00	12,991.00				
校 舎	<u>建</u> 2,438.76 <u>延</u> 6,770.83	<u>2,438.76</u> <u>6,770.83</u>					
体 育 館	<u>建</u> 1,357.99 <u>延</u> 1,423.34	<u>1,357.99</u> <u>1,423.34</u>					
武 道 場	<u>建</u> 548.94 <u>延</u> 548.94	<u>548.94</u> <u>548.94</u>					
その他の建物	<u>建</u> 1033.65 <u>延</u> 1013.80	<u>1,033.65</u> <u>1,013.80</u>					
寄 宿 舎	<u>建</u> 330.75 <u>延</u> 505.72	<u>330.75</u> <u>505.72</u>					
プ ー ル	785.00	785.00					50m×15.7m 7コース
職 員 住 宅	21戸	21戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	59,277.59 m ²	6,770.83 m ²	33,185.42 m ²
県 平 均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調

(令和7年7月31日現在)

学 年	学科別 区 分		普通科				産業マネジメント科				本校 計				普通科(佐久間分校)				合計			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1 年	入 学 者		120	59	61	120	160	98	58	156	280	157	119	276	40	9	4	13	320	166	123	289
	7	増加 ----- 減少						1		1		1		1						1		1
	現 在			59	61	120		97	58	155		156	119	275		9	4	13		165	123	288
2 年	入 学 者		120	60	63	123	160	95	69	164	280	155	132	287	40	9	2	11	360	164	134	298
	6	増加 ----- 減少																				
	2年時当初			1		1		5		5		6		6						6		6
	7			59	63	122		90	69	159		149	132	281		9	2	11		158	134	292
	7	増加 ----- 減少						1		1		1		1						1		1
現 在			59	63	122		89	69	158		148	132	280		9	2	11		157	134	291	
3 年	入 学 者		160	65	82	147	160	102	60	162	320	167	142	309	40	14	8	22	360	181	150	331
	5	増加 ----- 減少																				
	2年時当初			2	1	3		4	2	6		6	3	9		2		2		8	3	11
	6			63	81	144		98	58	156		161	139	300		12	8	20		173	147	320
	6	増加 ----- 減少						1	1	2		2	3	5						2	3	5
	3年時当初			1	2	3		97	57	154		159	136	295		12	8	20		171	144	315
	7	増加 ----- 減少																				
現 在			62	79	141		96	57	153		158	136	294		12	7	19		170	143	313	
合 計			180	203	383		282	184	466		462	387	849		30	13	43		492	400	892	

入学志願者及び

区 分		令和3年度					令和4年度				
学 科 別		普通科	産業マ ネジメン トⅠ科	産業マ ネジメン トⅡ科	産業マ ネジメン トⅢ科	佐久間 分校 普通科	普通科	産業マ ネジメン トⅠ科	産業マ ネジメン トⅡ科	産業マ ネジメン トⅢ科	佐久間 分校 普通科
生徒定員(A)		160	40	80	40	40	160	40	80	40	40
募集者数(B)		160	40	80	40	40	160	40	80	40	40
志願者数	男	80	21	68	11	16	80	21	68	11	11
	女	85	18	4	30	3	85	18	4	30	10
	計(C)	165	39	72	41	19	165	39	72	41	21
受検者数	男	79	21	68	11	16	79	21	68	11	11
	女	85	18	4	30	3	85	18	4	30	10
	計(D)	164	39	72	41	19	164	39	72	41	21
合格者数	男	79	21	68	11	16	84	19	74	13	11
	女	85	18	4	30	3	80	22	8	28	10
	計(E)	164	39	72	41	19	164	41	82	41	21
志願倍率 (C)/(B)		1.03	0.98	0.90	1.03	0.48	1.03	0.98	0.90	1.03	0.53
受検倍率 (D)/(B)		1.03	0.98	0.90	1.03	0.48	1.03	0.98	0.90	1.03	0.53
入学者数	男	79	21	68	11	16	84	19	74	13	11
	女	85	18	4	30	3	80	22	8	28	10
	計(F)	164	39	72	41	19	164	41	82	41	21
充足率 (F)/(A)		1.03	0.98	0.90	1.03	0.48	1.03	1.03	1.03	1.03	0.53

入学者数調

令和5年度					令和6年度					令和7年度				
普通科	産業マ ネジメン トⅠ科	産業マ ネジメン トⅡ科	産業マ ネジメン トⅢ科	佐久間 分校 普通科	普通科	産業マ ネジメン トⅠ科	産業マ ネジメン トⅡ科	産業マ ネジメン トⅢ科	佐久間 分校 普通科	普通科	産業マ ネジメン トⅠ科	産業マ ネジメン トⅡ科	産業マ ネジメン トⅢ科	佐久間 分校 普通科
160	40	80	40	40	120	40	80	40	40	120	40	80	40	40
160	40	80	40	40	120	40	80	40	40	120	40	80	40	40
64(1)	13	78	12	14	62	29	59	12	9	63	14	72 (1)	13	9
80(1)	27	6	28	8	63	31	8	36	2	64	26	4 (1)	24	4
144(2)	40	84	40	22	125	60	67	48	11	127	40	76 (2)	37	13
64(1)	13	78	12	14	62	29	59	12	9	61	14	72 (1)	13	9
80(1)	27	6	28	8	63	31	8	36	2	64	26	4 (1)	24	4
144(2)	40	84	40	22	125	60	67	48	11	125	40	76 (2)	37	13
65(1)	13	77	12	14	60	20	63	12	9	59	14	71 (1)	13	9
81(1)	27	5	28	8	63	22	17	30	2	61	26	4 (1)	27	4
146(2)	40	82	40	22	123	42	80	42	11	120	40	75 (2)	40	13
0.90	1.00	1.05	1.00	0.55	1.04	1.50	0.84	1.20	0.28	1.06	1.00	0.95	0.93	0.33
0.90	1.00	1.05	1.00	0.55	1.04	1.50	0.84	1.20	0.28	1.04	1.00	0.95	0.93	0.33
65	13	77	12	14	60	20	63	12	9	59	14	71	13	9
82	27	5	28	8	63	22	17	30	2	61	26	5	27	4
147	40	82	40	22	123	42	80	42	11	120	40	76	40	13
0.92	1.00	1.03	1.00	0.55	1.03	1.05	1.00	1.05	0.28	1.00	1.00	0.95	1.00	0.33

卒業生の動向調（本校・全日制）

1 進路状況

学 科 別		普通科			産業マネジメント科			計		
		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒 業 生 徒 数		154	157	152	159	139	152	313	296	304
内 訳	(進学志願者)	(105)	(111)	(107)	(61)	(49)	(56)	(166)	(160)	(163)
	大 学 ・ 短 大	50	46	39	20	6	17	70	52	56
	専修・各種学校等	55	65	68	41	43	39	96	108	107
	小 計	105	111	107	61	49	56	166	160	163
	就 職 者	47	44	42	96	88	95	143	132	137
	自 営 者									
	進学準備者			1						1
	そ の 他	2	2	2	2	2	1	4	4	3
合 計		154	157	152	159	139	152	313	296	304

2 求人状況

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	141	125	135
求 人 数	548	633	626
求 人 倍 率	3.89	5.06	4.64

3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別	普通科	産業マネジメント科	計
卒 業 生 徒 数	152	152	304
実用英語技能検定	2 級	1	1
	準2 級	7	7
	3 級	10	10
ICTプロフィシエンシー検定	準2 級	2	2
	3 級	29	29
フォークリフト技能講習		7	7
フォークリフト特別教育		3	3
玉掛け技能講習		2	2
普通旋盤作業	3 級	2	2
計算技術検定	3 級	78	78
日本農業技術検定	2 級	1	1
	3 級	25	25
日商簿記検定	2 級	2	2
	3 級	13	13
全商簿記検定	1 級	7	7
	2 級	18	18
全経簿記検定	2 級	24	24
	3 級	27	27
日本漢字能力検定	2 級	4	4
	準2 級	16	22
	3 級	6	7
合 計	44	247	291

卒業生の動向調（分校・全日制）

1 進路状況

学 科 別		普通科		
年 度		4年度	5年度	6年度
卒 業 生 徒 数		14	19	20
内 進 学 者 訳	(進学志願者)	(11)	(13)	(15)
	大 学 ・ 短 大	6	6	7
	専修・各種学校等	5	7	6
	小 計	11	13	13
	就 職 者	3	5	7
	自 営 者	0	0	0
	進学準備者	0	0	0
	そ の 他	0	1	0
合 計		14	19	20

2 求人状況

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	3	5	7
求 人 数	27	26	31
求 人 倍 率	9.00	5.20	4.43

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	普通科	計
卒 業 生 徒 数	20	20
実用英語技能検定	3 級	1
実用英語技能検定	準2 級	1
実用英語技能検定	2 級	2
合 計	4	4

生徒の状況（本校・全日制）

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

市町名	浜松市	湖西市	磐田市	その他	合計
生徒数	820	22	2	5	849
構成比%	96.58%	2.59%	0.24%	0.59%	100%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	徒歩	バス	自転車	電車	その他	合計
生徒数	22	46	515	231	35	849
構成比%	2.6%	5.42%	60.66%	27.21%	4.12%	100%

2 部（クラブ）の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		15	13		28
男子	1年	92	49	15	156
	2年	91	47	10	148
	3年	86	62	10	158
	計(A)	269	158	35	462
	構成比	58.23%	34.2%	7.58%	100%
女子	1年	29	81	9	119
	2年	45	85	2	132
	3年	29	96	11	136
	計(B)	103	262	22	387
	構成比	26.61%	67.7%	5.68%	100%
合計	(A+B)	372	420	57	849
	構成比	43.82%	49.47%	6.71%	100%

生徒の状況（分校・全日制）

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

市町名	浜松市	磐田市	袋井市	東栄町	新城市	合計
生徒数	35	3	1	3	1	43
構成比%	81.4%	6.98%	2.33%	6.97%	2.33%	100%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位：人)

区分	徒 歩	バ ス	自 転 車	電 車	その他	合 計
生徒数	16	0	2	25	0	43
構成比%	37.21%	0%	4.65%	58.14%	0%	100%

2 部（クラブ）の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		4	5		9
男子	1 年	7	1	1	9
	2 年	6	3	0	9
	3 年	8	4	0	12
	計 (A)	21	8	1	30
	構成比	70%	26.67%	3.33%	100%
女子	1 年	2	2	0	4
	2 年	2	0	0	2
	3 年	2	5	0	7
	計 (B)	6	7	0	13
	構成比	46.15%	53.85%	0.0%	100%
合計	(A+B)	27	15	1	43
	構成比	62.79%	34.88%	2.33%	100%

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区分	6年度		7年度 (令和7年7月31日現在)	
	件数		件数	
入学検定料	本校	分校	本校	分校
	280	13	0	0

授業料 収 納 状 況 調

(全 日 制)

(令和6年度)

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額		納 期 後 収 入 未 済 額		
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	円	%		円	
一 期	4													A. 期首収納権利発生額= 3,504,600円 本校 (1年29人×9,900円×3月= 861,300円) (2年53人×9,900円×3月=1,574,100円) (3年30人×9,900円×3月= 891,000円) 分校 (1年0人×9,900円×3月= 0円) (2年3人×9,900円×3月= 89,100円) (3年3人×9,900円×3月= 89,100円) B. 収納権利増減(▲)額=▲9,900円 5月31日: 3年: 転学 ▲1 (3年1人×9,900円×1月=▲9,900円) C. 収納必要額A(±) B= 3,494,700円
	5													
	6					1	19,800	1	19,800	19,800	100.0			
	7	29	861,300	56	1,663,200	32	950,400	117	3,474,900	3,415,500	98.3	0	59,400	
	8											59,400	0	
	計	29	861,300	56	1,663,200	33	970,200	118	3,494,700	3,435,300	98.3	59,400	0	
二 期	7													A. 期首収納権利発生額= 6,583,500円 本校 (1年36人×9,900円×5月=1,782,000円) (2年49人×9,900円×5月=2,425,500円) (3年36人×9,900円×5月=1,782,000円) 分校 (1年1人×9,900円×5月= 49,500円) (2年5人×9,900円×5月= 247,500円) (3年6人×9,900円×5月= 297,000円) B. 収納権利増減(▲)額= ▲69,300円 9月30日: 1年: 転学▲1 (1年1人×9,900円×2月=▲19,800円) 11月7日: 2年: 就学支援金認定▲1 (2年1人×9,900円×5月=▲49,500円) C. 収納必要額A(±) B= 6,514,200円
	8													
	9													
	10	36	1,782,000	54	2,673,000	42	2,079,000	132	6,534,000	6,336,000	97.0	0	198,000	
	11	1	29,700					1	29,700	29,700	100.0	0	0	
	計	37	1,811,700	53	2,623,500	42	2,079,000	132	6,514,200	6,316,200	97.0	198,000	0	
三 期	12													A. 期首収納権利発生額= 5,187,600円 本校 (1年35人×9,900円×4月=1,386,000円) (2年48人×9,900円×4月=1,900,800円) (3年36人×9,900円×4月=1,425,600円) 分校 (1年1人×9,900円×4月= 39,600円) (2年5人×9,900円×4月= 198,000円) (3年6人×9,900円×4月= 237,600円) B. 収納権利増減(▲)額= 0円 C. 収納必要額A(±) B= 5,187,600円
	1	36	1,425,600	53	2,098,800	42	1,663,200	131	5,187,600	5,029,200	96.9	0	158,400	
	2											158,400	0	
	3												0	
	計	36	1,425,600	53	2,098,800	42	1,663,200	131	5,187,600	5,029,200	96.9	158,400	0	
合 計	102	4,098,600	162	6,385,500	117	4,712,400	381	15,196,500	14,780,700	97.3	415,800	0	D. 収納必要額= 15,196,500円	

授 業 料 収 納 状 況 調

(全 日 制)

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額		納 期 後	収 入	
		人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	未 済 額	
一 期	4													A. 期首収納権利発生額= 0円 本校 (1年0人×9,900円×3月=0円) (2年0人×9,900円×3月=0円) (3年0人×9,900円×3月=0円) 分校 (1年0人×9,900円×3月=0円) (2年0人×9,900円×3月=0円) (3年0人×9,900円×3月=0円) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=0円
	5													
	6													
	7													
	8													
	計													
二 期	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
	計													
三 期	12													
	1													
	2													
	3													
	計													
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	D. 収納必要額=0円

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
浜松磐田信用 金庫中川支店	無利息型 普通預金	2124373	静岡県立浜松湖北高等学校 資金前渡者 校長 新井 淳一	0	給与
静岡銀行 引佐支店	無利息型 普通預金	0264256	(自振口) 静岡県立浜松湖北高等学校 資金前渡者 校長 新井 淳一	0	水道料、電話料、社会保 険料等
浜松磐田信用 金庫中川支店	無利息型 普通預金	2121082	静岡県立浜松湖北高等学校 代理受領者 新井 淳一	0	奨学給付金
残高合計				0	

様式第7号-4

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

<本校>

(単位:枚、円)

区分	種 類	6 年 度						7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	1円券	41	41	4	4	45	45	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	2円券	0	0	12	24	12	24	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	5円券	0	0	12	60	12	60	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	10円券	26	260	1	10	15	150	12	120	0	0	0	0	12	120	一般通信用
	16円券	0	0	8	128	8	128	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	40円券	0	0	12	480	12	480	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	63円券	17	1,071	0	0	17	1,071	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	82円券	18	1,476	0	0	18	1,476	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	85円券	0	0	20	1,700	14	1,190	6	510	0	0	0	0	6	510	一般通信用
	110円券	0	0	10	1,100	0	0	10	1,100	0	0	0	0	10	1,100	一般通信用
	120円券	8	960	0	0	1	120	7	840	0	0	0	0	7	840	一般通信用
	140円券	0	0	10	1,400	0	0	10	1,400	0	0	0	0	10	1,400	一般通信用
52円 はがき	4	208	0	0	4	208	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用	
計			4,016		4,906		4,952		3,970		0		0		3,970	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)
(単位：枚、円)

<分校>

区分	種類	6 年 度						7 年 度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	10円券	18	180	0	0	2	20	16	160	0	0	0	0	16	160	一般通信用
	20円券	10	200	0	0	10	200	0	0	0	0	0	0	0	0	一般通信用
	84円券	27	2,268	0	0	1	84	26	2,184	0	0	0	0	26	2,184	一般通信用
	280円券	15	4,200	0	0	0	0	15	4,200	0	0	0	0	15	4,200	一般通信用
計		6,848	0	0	304		6,544	0	0	0	0	6,544				

材 料 品 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

区分 品名	6 年 度						7 年 度						摘 要		
	繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		数量	金額
イチゴ(kg)	25	1,250	100	5,000	95	4,750	30	1,500	100	5,000	50	2,500	80	4,000	
みかん(kg)	80	2,400	0	0	40	1,200	40	1,200	0	0	40	1,200	0	0	
上白糖(kg)	44	13,781	40	13,392	56	17,920	28	9,253	40	13,824	34	11,395	34	11,682	
ポッカレモン(本)	7	3,617	2	1,069	5	2,596	4	2,090	5	2,673	3	1,577	6	3,186	
ジャム瓶(個)	600	56,992	540	59,400	500	49,424	640	66,968	100	12,100	300	31,698	440	47,370	
計		78,040	78,861	75,890		81,011	33,597	48,370		66,238					

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	
						左のうち、 5年度からの 繰越額分	
(12) 委託料	一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	/	5,642,230	/
	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		8,813,328	
	一般会計	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費		6,312,790	
	一般会計	11教育費	08学校教育費	01高校教育費		5,610	
計					21,382,387	20,773,958	0
(14) 工事 請負費	一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	/	7,700,000	/
計					957,000	7,700,000	0
(16) 公有財産 購入費					/	0	/
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	/	205,700	/
	一般会計	11教育費	08学校教育費	01高校教育費		23,050,500	
計					2,093,300	23,256,200	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	/	96,635,800	/
計					103,709,400	96,635,800	0
(21) 補償、補 填及び賠 償金					/	0	/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	0	0
	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	988,027	0
	一般会計	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	0	0
計					988,027	0
(14) 工事 請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	0	0
	一般会計	11教育費	08学校教育費	01高校教育費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	22,941,000	0
計					22,941,000	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	0
計					0	0

委 託 料 に

整理番号	委託業務名	受託者	当設計金額	契約金額			契約締結法
				初額	増減	更額	
	(事務関係)		円	円		円	
1	エレベーター保守点検業務	東芝エレベータ(株)静岡支店	1,011,129	924,000		924,000	随契
2	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	19,382,550	18,810,000	△ 16,500	18,793,500	一般
3	可燃物収集運搬処分業務	東名興産(株)	313,676	運搬料 2,750円/回 処分料 12.5円/Kg		運搬料 2,750円/回 処分料 12.5円/Kg	随契
4	「学校案内」制作業務	(株)アドリブ	693,000	522,500		522,500	随契
5	産業廃棄物収集運搬業務	エス・ライナー(株)	13,200	13,200		13,200	随契
6	産業廃棄物処分業務	エコプラント(株)	74,800	74,800		74,800	随契
7	廃油運搬処分業務	東名興産(株)	55,000	55,000		55,000	随契
8	ボイラー保守点検業務	(株)丸八	77,000	77,000		77,000	随契
9	環境モニタリング機器利用	(株)NPシステム開発	5,610	5,610		5,610	随契
	事務関係計	9件	21,312,289	20,482,110	△ 16,500	20,465,610	
	工事関係計	0件	0	0	0	0	
	合計	9件	21,312,289	20,482,110	△ 16,500	20,465,610	

関 する 調

(令和6年度)

契約期間	支年 月 出日	金額	委託業務の内容	摘要	
6.4.1~7.3.31		円			
	6.5.31	40,150			
	6.6.28	137,500			
	6.7.31	40,150			
	6.8.30	40,150			
	6.9.30	137,500			
	6.10.31	40,150	エレベーター保守点検業務	随契2号(不適)	
	6.11.29	92,950	フルメンテナンス契約		
	6.12.26	137,500	遠隔点検1回/月、定期点検1回/3ヶ月		
	7.1.31	40,150	法定点検1回/年		
	7.2.28	40,150			
7.3.31	137,500				
7.4.30	40,150				
小計	924,000				
6.4.1~7.3.31	6.10.31	13,853,510	消防用設備等保守点検業務		浜松北高、浜松湖東高、浜松東高、浜松工業高、浜名高、浜北西高、天竜高、天竜高春野校舎、浜松湖北高、浜松湖北高佐久間分校、浜松視覚特支、天竜特支、浜北特支、西部特支、浜松みをつくし特支
	7.4.18	4,939,990	機器・総合点検1回/年 機器点検1回/年 防火設備点検1回/年		
	小計	18,793,500			
6.4.9~7.3.31	6.5.31	24,850	可燃物収集運搬処分業務 2回/週	随契1号(少額)	
	6.6.28	26,025			
	6.7.31	24,800			
	6.8.30	27,675			
	6.9.30	20,812			
	6.10.31	24,987			
	6.11.29	28,025			
	6.12.26	26,500			
	7.1.31	22,575			
	7.2.28	26,487			
	7.3.31	22,425			
7.4.30	33,187				
小計	308,348				
6.4.24~6.6.17	6.7.16	522,500	「学校案内」制作業務 6,500部	随契1号(少額)	
6.12.25~7.2.28	7.2.20	13,200	産業廃棄物収集運搬業務 コンテナ8m ³ ×1車	随契1号(少額)	
6.12.25~7.2.28	7.2.26	74,800	産業廃棄物処分業務 コンテナ8m ³ ×1台	随契1号(少額)	
7.2.12~7.3.31	7.3.24	55,000	切削油収集運搬処分業務	随契1号(少額)	
6.11.27~7.3.31	7.4.25	77,000	ボイラー保守点検業務	随契1号 (少額) 佐久間分校	
7.3.3~7.3.31	7.4.30	5,610	環境モニタリング機器システム保守利用	随契1号(少額)	
		20,773,958			
		0			
		20,773,958			

参考

整理番号	委託業務名	受託者	当設計金額	契約金額			契約締結方	約結法
				当初額	変更増減額	計		
1	警備業務	セコム(株)		14,256,000	0	14,256,000		
2	自家用電気工作物 保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		4,755,960	295,361	5,051,321		
3	プール浄化装置保 守点検業務	清化工業(株)		998,800	△ 17,050	981,750		
4	建築物環境衛生管 理業務	(株)シービーエム		7,773,260	0	7,773,260		
5	建築基準法第12条 に基づく定期点検 業務	(有)山口一級建築士 事務所		2,200,000	0	2,200,000		
6	自家用電気工作物 保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		2,084,390	0	2,084,390		
7	可燃物収集運搬 処分業務	(株)リサイクルク リーン		運搬料 6,600円/回 処分料 14.3円/Kg	0	運搬料 6,600円/回 処分料 14.3円/Kg		
8	警備業務	セコム(株)		4,389,000	0	4,389,000		
	計	8件		36,457,410	278,311	36,735,721		

契約期間	支年 月	出日	金額	委託業務の内容	摘要
元. 10. 1～6. 9. 30 6. 10. 1～11. 9. 30				機械警備業務 夜間・休日における侵入・火災等の監視	浜松工業高校
6. 4. 1～7. 3. 31				電気工作物保安管理業務 月次点検、年次点検	浜松城北工業高校
6. 4. 8～6. 12. 27				プール浄化装置保守点検業務 始業点検、終業点検	浜松東高校 (佐久間分校分含む)
6. 4. 1～7. 3. 31				建築物環境衛生管理業務 空気環境測定、害虫駆除作業、給水管 理作業	浜松西高校
6. 11. 22～7. 3. 24				建築基準法第12条に基づく定期点検業 務 建築物点検 建築設備点検	浜北西高校
6. 4. 1～7. 3. 31				電気設備の保守点検、月次点検、年次 点検	天竜特別支援学校 (佐久間分校分)
6. 4. 3～7. 3. 31				可燃物収集運搬処分業務	天竜高校 (佐久間分校分)
元. 10. 1～6. 9. 30				警報機器による侵入、火災の監視 及び異常時の対処	天竜高校 (佐久間分校分)

委 託 料 に

整 理 番 号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 設 計 金 初 額	契 約 金 額			契 約 結 法
				当 初 額	変 更 増 減 額	計	
1	(事務関係) エレベーター保守点検業務	東芝エレベータ(株)静岡支店	976,800	976,800	0	976,800	随契
2	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	19,793,400	19,250,000	0	19,250,000	一般
3	可燃物収集運搬処分業務	東名興産(株)	358,600	運搬料 3,300円/回 処分料 12.5円/Kg	0	運搬料 3,300円/回 処分料 12.5円/Kg	随契
4	環境モニタリング機器システム保守業務	株NPシステム開発	67,320	67,320	0	0	随契
5	選果機保守点検業務	株NPシステム開発	66,000	66,000	0	0	随契
6	「学校案内」制作業務	株アドリブ	718,800	555,500	0	555,500	随契
7	産業廃棄物収集運搬処分業務(薬品類)	株大洋サービス	122,650	122,650	0	122,650	随契
8	害獣捕獲駆除及び処分業務	株マルマ	83,600	83,600	0	83,600	随契
	事務関係計	8件	22,187,170	21,121,870	0	20,988,550	
	工事関係計	0件	0	0	0	0	
	合 計	8件	22,187,170	21,121,870	0	20,988,550	

参考

整 理 番 号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 設 計 金 初 額	契 約 金 額			契 約 結 法
				当 初 額	変 更 増 減 額	計	
1	警備業務	セコム(株)		14,256,000	0	14,256,000	
2	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		5,212,680	0	5,212,680	
3	プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)		995,500	△ 37,400	958,100	
4	建築物環境衛生管理業務	株シービーエム		8,401,470	0	8,401,470	
5	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		2,084,390	0	2,084,390	
6	可燃物収集運搬処分業務	株リサイクルクリーン		運搬料 6,600円/回 処分料 14.3円/Kg	0	運搬料 6,600円/回 処分料 14.3円/Kg	
7	警備業務	セコム(株)		4,389,000	0	4,389,000	
	計	7件		35,339,040	△ 37,400	35,301,640	

関 する 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

契 約 期 間	支 年 月 出 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
7.4.1~8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	円 42,680 144,980 42,680 小計 230,340	エレベーター保守点検業務 フルメンテナンス契約 遠隔点検1回/月、定期点検1回/3ヶ月 法定点検1回/年	随契1号(少額)
7.4.1~8.3.31		0	消防用設備等保守点検業務 機器・総合点検1回/年 機器点検1回/年 防火設備点検1回/年	浜松北高、浜松湖東高、浜松東高、浜松工業高、浜名高、浜北西高、天竜高、天竜高春野校舎、浜松湖北高、浜松湖北高佐久間分校、浜松視覚特支、天竜特支、浜北特支、西部特支、浜松みをつくし特支
7.4.8~8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31	23,037 29,925 26,575 小計 79,537	可燃物収集運搬処分業務 2回/週	随契1号(少額)
7.4.8~8.3.19		0	環境モニタリング機器システム 保守業務	随契1号(少額)
7.4.8~8.3.19		0	選果機保守点検業務	随契1号(少額)
7.4.21~7.6.18	7.7.31	555,500	「学校案内」制作業務 6,200部	随契1号(少額)
7.5.21~7.10.31	7.7.31	122,650	産業廃棄物収集運搬処分業務 シアン化廃液外薬品類	随契1号(少額)
7.7.1~7.9.30		0	害獣(ハクビシン)の捕獲駆除及び処分	随契1号(少額)
		988,027		
		0		
		988,027		

契 約 期 間	支 年 月 出 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
6.10.1~11.9.30			機械警備業務 夜間・休日における侵入・火災等の監視	浜松工業高校
7.4.1~8.3.31			電気工作物保安管理業務 月次点検、年次点検	浜松城北工業高校
7.4.10~7.12.26			プール浄化装置保守点検業務 始業点検、終業点検	浜松東高校 (佐久間分校分含む)
7.4.1~8.3.31			建築物環境衛生管理技術者管理業務 空気環境測定、害虫駆除作業、給水管理作業	浜松西高校
7.4.1~8.3.31			電気設備の保守点検、月次点検、年次点検	天竜特別支援学校 (佐久間分校分)
6.4.3~7.3.31			可燃物収集運搬処分業務	天竜高校 (佐久間分校分)
元.10.1~6.9.30			警報機器による侵入、火災の監視 及び異常時の対処	天竜高校 (佐久間分校分)

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会等参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会総会等参加	4,000	6.5.14
2	全国農業高等学校長協会関東支部総会参加費	全国農業高等学校長協会関東支部	開催通知	全国農業高等学校長協会関東支部大会参加	3,500	6.6.28
3	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部	開催通知	全国高等学校農場協会関東支部大会参加	3,500	6.6.28
4	東海四県高等学校長連絡協議会総会等参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会総会等参加	2,000	6.7.16
5	静岡県自動車整備振興会会費	一般社団法人静岡県自動車整備振興会	静岡県自動車整備振興会定款及び会費規程	静岡県自動車整備振興会年会費	18,000	6.7.26
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 785名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	23,314,500	振替日 6.7.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 45名)(分校)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,336,500	振替日 6.7.31
8	整備主任者研修会参加費	一般社団法人静岡県自動車整備振興会	開催通知	整備主任者研修会(技術・法令)参加	8,000	6.9.30
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 転退学者分3名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	69,300	振替日 6.10.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 769名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	38,065,500	振替日 6.10.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 39名)(分校)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,930,500	振替日 6.10.31
12	東海地区機械教育研究会参加費	東海地区機械教育研究会	開催通知	東海地区機械教育研究会協議会参加	2,500	6.11.15
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 遡及認定者分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 6.11.15
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 767名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	30,373,200	振替日 7.1.31
15	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 39名)(分校)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,544,400	振替日 7.1.31
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 転退学者分3名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 7.1.31
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 転学者戻入分3名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 118,800	振替日 7.2.20
計		17件	/	/	96,635,800	/

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国農業高等学校長協会総会参加費	全国農業高等学校長協会	開催通知	全国農業高等学校長協会総会参加	3,000	7.4.21
2	全国高等学校長協会総会等参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会総会等参加	4,000	7.5.14
3	廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	開催通知	廃棄物管理責任者講習会受講	13,200	7.6.10
4	東海地区機械教育研究会総会・研究会参加費	東海地区機械教育研究会	開催通知	東海地区機械教育研究会総会・研究会参加	1,000	7.6.17
5	全国農業高等学校長協会関東支部総会参加費	全国農業高等学校協会関東支部	開催通知	全国農業高等学校長協会関東支部総会・研究協議会参加	3,500	7.6.27
6	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部	開催通知	全国高等学校農場協会関東支部大会参加	3,500	7.6.27
7	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加	4,000	7.7.11
8	東海四県高等学校長連絡協議会総会等参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会総会等参加	2,000	7.7.23
9	静岡県自動車整備振興会会費	一般社団法人静岡県自動車整備振興会	静岡県自動車整備振興会定款及び会費規程	静岡県自動車整備振興会年会費	18,000	7.7.25
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 734名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,799,800	振替日 7.7.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 36名)(分校)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,069,200	振替日 7.7.31
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 退学者1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	振替日 7.7.31
計		12件	/	/	22,941,000	/

建 築 工

<分校>

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当設 計金 初額	契 約 金	
					当 初 額	変 更 増 減 額
1	教育管理費	令和6年度 静岡県立浜松湖北高 等学校佐久間分校井 水ポンプ更新工事	浜松市天竜区 佐久間町地内	7,700,000 円	7,700,000 円	0 円
		合 計	1件	7,700,000	7,700,000	0

事 調

(令和6年度)

額	契約締結方法	受注者	着完 (予定) 年 月 日	手成) 日	支出済額	工 事 概 要	公 有 財 産 台 帳	摘 要
計								
円			R7.2.10		円			令達年月日 R7.1.8
7,700,000	指名	(株)岩田建設	～		7,700,000	井水揚水ポンプおよび送水ポンプの更新工事一式	—	最終支払年月日 R7.4.15
7,700,000			R7.3.21		7,700,000			

公 有 財 産 調

〈本校〉

(令和6年度)

区 分	6年 3月 31日		増		減		7年 3月 31日		摘 要
	現 在						現 在		
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 3,828,075		千円 0		千円 195,905		千円 3,632,170	
土地	m ² 223,244.09	1,304,422	m ² 0.00	0	m ² 0.00	0	m ² 223,244.09	1,304,422	
立木竹	本 179 m ³ 3,198.00	10,321 26,170	本 0 m ³ 0.00	0 0	本 0 m ³ 0.00	0 0	本 179 m ³ 3,198.00	10,321 26,170	
建物	m ² 12,307.68 19,535.29	2,072,174	m ² 0.00 0.00		m ² 1,250.86 1,250.86	136,367	m ² 11,056.82 18,284.43	1,935,807	
工作物	個 118	414,988	個 1		個 0	59,538	個 119	355,450	
特許権等	件 2	0	件 0	0	件 0	0	件 2	0	
普通財産		7,229		0		0		7,229	
土地	m ² 441.81	7,229	m ² 0	0	m ² 0.00	0	m ² 441.81	7,229	
公有財産に 準ずるもの		190		0		0		190	
電話加入権	件 5	190	件 0	0	件 0	0	件 5	190	

令和7年度中増減なし

公 有 財 産 調 査

〈分校〉

(令和6年度)

区 分	6年 3月 31日 現 在		増		減		7年 3月 31日 現 在		摘 要
	数 量 は 面 積	又 台 帳 価 格	数 量 は 面 積	又 台 帳 価 格	数 量 は 面 積	又 台 帳 価 格	数 量 は 面 積	又 台 帳 価 格	
行政財産	千円		千円		千円		千円		
		891,879		0		36,683		855,196	
土 地	m ²		m ²		m ²		m ²		
	59,277.59	446,615	0.00	0	0.00	0	59,277.59	446,615	
立 木 竹	本		本		本		本		
	79	756	0	0	0	0	79	756	
建 物	m ²		m ²		m ²		m ²		
	$\frac{5,710.09}{10,262.63}$	417,974	$\frac{0.00}{0.00}$	0	$\frac{0.00}{0.00}$	32,907	$\frac{5,710.09}{10,262.63}$	385,067	
工 作 物	個		個		個		個		
	99	26,534	0	0	0	3,776	99	22,758	
普通財産	千円		千円		千円		千円		
		91,711		0		8,292		83,419	
土 地	m ²		m ²		m ²		m ²		
	3,167.69	20,773	0	0	0	0	3,167.69	20,773	
建 物	m ²		m ²		m ²		m ²		
	$\frac{745.64}{1,267.44}$	70,938	$\frac{0.00}{0.00}$	0	$\frac{0.00}{0.00}$	8,292	$\frac{745.64}{1,267.44}$	62,646	
工 作 物	個		個		個		個		
	24	0	0	0	4	0	20	0	
公有財産に 準ずるもの	千円		千円		千円		千円		
		146		0		0		146	
電話加入権	件		件		件		件		
	5	146	0	0	0	0	5	146	

令和7年度中増減なし

借地借家等調

<本校>

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地 浜松市浜名区	地目		数量 面積	借料		契期	約間	所有者 氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額				
1	土地	学校敷地	引佐町金指 1413-4			m ² 150.00	円	9,000	6.4.1~ 9.3.31		個人	運動場敷地
2	土地	学校敷地	引佐町金指 1456-1			m ² 21.52		無償	3.4.1~ 13.3.31		浜松市長	南部農場門扉設置
3	土地	学校敷地	引佐町金指 1551-2、 1525-4			m ² 20.61		1,417	6.4.1~ 9.3.31		浜松市長	実習地
4	土地	学校敷地	引佐町金指 1421-3			m 2.40		無償	7.4.1~ 12.3.31		浜松市長	排水管設置
	計					m ² 192.13 m 2.40						
1	工作物	冷暖房装置	引佐町金指 1428			式 1		4,494,207	6.7.1~ 19.6.30		NTT・TCリース(株) 静岡支店	特別教室空調
	計					式 1						

借 地 借 家 等 調

<分校>

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約 期間	所有者又 は契約者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土 地	宅 地	佐久間町 中部437-9	宅 地	宅 地	m ² 391.73	円	円 25,955	3.4.1 ～ 8.3.31	浜松市長	教 職 員 住宅敷地
2	建 物	雑屋建	佐久間町 中部683-1	雑屋建	雑屋建	m ² 18.22		無償	7.4.1 ～ 8.3.31	浜松市教育 委員会教育長	体育用品 保管場所
3	工作物	冷暖房 装置	佐久間町 中部683-1			1個		1,422,254	3.7.1 ～ 16.6.30	三井住友ファ イナンス&リ ース株式会社	普通教室 空調
4	工作物	冷暖房 装置	佐久間町 中部683-1			1個		3,472,149	6.7.1 ～ 19.6.30	N T T ・ T C リース株式会 社 静岡支店	特別教室 空調

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

<分校>

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

区 分	事業名又 は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
長期継続 契 約	電子複写機 賃貸契約	電子複写機 2台 (契約日) 令和6年4月1日	円 1,881,000	円 376,200	円 376,200	円 376,200	円 376,200	円 376,200

行政財産貸付・使用許可調

<本校>

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地 浜松市浜名区	地目		数量 は	又積 面積	貸付料 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況			単価	年額			
1	土地	学校敷地	引佐町金指1428			本5		円 1,500	円 7,500	7.4.1～ 12.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所配電建設グループ長	電柱3本 支線2本
2	土地	学校敷地	引佐町金指1456-1			本2		1,500	3,000	7.4.1～ 12.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所配電建設グループ長	支線2本
3	土地	実習用地	細江町三和743-1			本3		1,500	4,500	7.4.1～ 12.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所配電建設グループ長	電柱2本 支線1本
4	土地	学校敷地	引佐町金指1428			本1		1,500	1,500	7.4.1～ 12.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電話柱1本
5	土地	学校敷地	引佐町金指1428			本2			免除	7.4.1～ 12.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電話柱2本 災害対策用
6	土地	学校敷地	引佐町金指1428			m ² 0.90			免除	7.4.1～ 10.3.31	浜松市長	避難地案内板
7	建物	事務所建	引佐町金指1428	S造	"	m ² 0.03			免除	4.4.1～ 9.3.31	浜松市長	同報無線戸別受信機
8	土地	学校敷地	引佐町金指1428			m ² 3.25			免除	6.4.1～ 9.3.31	浜松市長	災害時特設公衆電話設備
9	土地	学校敷地	引佐町金指1428			m ² 0.12			免除	7.4.1～ 8.3.31	浜松市長	道路反射鏡
10	土地	実習用地	滝沢町1-6の内			m ² 3280.00			免除	7.4.1～ 8.3.31	浜松市長	地域観光資源
11	土地	学校敷地	引佐町金指1428			m ² 0.82			免除	7.4.1～ 8.3.31	国土地理院中部地方測量部長	二等水準点及び標示板
12	土地	学校敷地	引佐町金指1428			m ² 1.00		592,592		6.4.1～ 9.3.31	サントリービバレッジソリューション(株)	飲料用自動販売機
13	建物	事務所建	引佐町金指1428	S造	"	m ² 3.00		28,620		6.4.1～ 9.3.31	浜松湖北高等学校後援会長	自動販売機
14	建物	事務所建	引佐町金指1428	S造	"	m ² 33.80			免除	6.4.1～ 9.3.31	浜松湖北高等学校後援会長	購買室
15	建物	事務所建	引佐町金指1428	S造	"	m ² 9.90			免除	6.4.1～ 9.3.31	浜松湖北高等学校PTA会長	職員執務場所
16	土地	学校敷地	引佐町金指1428			m ² 50.00			免除	6.4.1～ 9.3.31	浜松湖北高等学校PTA会長	職員駐車場
合計								637,712				

行政財産貸付・使用許可調

<分校>

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地 浜松市 天竜区	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	本 4	円 1,500	円 6,000	4.4.1～ 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜北営業所長	電柱・支線
2	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 23.81		免除	7.4.1～ 8.3.31	佐久間町中部自治会長	防災倉庫
3	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 166.80		免除	7.4.1～ 8.3.31	浜松市長	道路用地
4	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	1,318.6m ² 39.71m ²		58,080	7.4.1～ 8.3.31	浜松市水道事業及び 下水道事業管理者	簡易水道
5	建物	事務所建	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 1.37		6,150	6.4.1～ 9.3.31	佐久間分校 PTA会長	自動販売機
6	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 1072.50		免除	7.4.1～ 8.3.31	浜松市長	佐久間中学校
7	建物	事務所建	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 1057.23		免除	7.4.1～ 8.3.31	浜松市長	佐久間中学校
8	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 8.72		免除	7.4.1～ 12.3.31	浜松市長	地震対策防 災倉庫
9	土地	学校敷地	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 0.60		免除	7.4.1～ 12.3.31	浜松市長	地震対策避 難地標識版
10	建物	住宅建	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 22.75		免除	7.4.1～ 8.3.31	啓成寮運営協議会長	執務室
11	建物	事務所建	佐久間町 中部683-1	学校用地	学校敷地	m ² 0.01		免除	7.4.1～ 8.3.31	浜松市長	同報無線受 信装置
合計								70,230			

普通財産・借受財産等貸付調

<分校>

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地 浜松市 天竜区	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可 期 間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	佐久間町 半場120-8	宅地	宅地	2本	円	円	5.4.1~ 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜北営業所長	電柱・支線
2	土地	宅地	佐久間町浦川 2820-356	宅地	宅地	3本	1,500	4,500	5.4.1~ 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜北営業所長	電柱・支線
3	土地	宅地	佐久間町 佐久間544-3	宅地	宅地	2本	1,500	3,000	7.4.1~ 10.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 浜北営業所長	電柱・支線
4	土地	宅地	佐久間町 佐久間544-3	宅地	宅地	1本	1,500	1,500	5.4.1~ 8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱
5	土地	宅地	佐久間町 半場120-8	宅地	宅地	1本	1,500	1,500	5.4.1~ 8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	支線
6	土地	宅地	佐久間町 半場120-8	宅地	宅地	0.819㎡		免除	7.4.1~ 8.3.31	浜松市水道事業及び下水道 事業者	下水道
7	土地	宅地	佐久間町 中部514-2	宅地	宅地	24.48㎡		免除	7.4.1~ 8.3.31	浜松市長	防火水槽
8	土地	宅地	佐久間町 中部514-3	宅地	宅地	11.94㎡		免除	7.4.1~ 8.3.31	浜松市長	道路
合計								13,500			

職員公舎管理状況調

<分校>

(令和7年7月31日現在)

整理番号	所在地 浜松市 天竜区	建築年月	構造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	Bの内他事務所 職員入居 戸(室)数	空室戸(室) 数(A-B)	摘要
1	佐久間町 中部437-9	平成6年3月	木造 平屋建	1	1	0	0	借地(浜松市)
2	佐久間町 佐久間544-3	平成8年2月	木造 平屋建	4	1	0	3	R6.8.1~1戸 R7.1.1~1戸 R7.5.1~1戸
3	佐久間町 中部565-5	昭和59年3月	RC造 2階建	4	0	0	4	H30.4.1~1戸 H31.4.1~2戸 R3.4.1~1戸 令和7年度解体予定
4	佐久間町 浦川 2820-356	平成2年6月	RC造 3階建	12	1	0	11	H25.4.1~1戸 H29.7.25~1戸 H30.4.8~1戸 R1.9.1~1戸 R4.4.1~1戸 R4.7.1~1戸 R6.4.1~1戸 R6.8.8~1戸 R7.4.1~2戸 R7.5.1~1戸
計				21	3	0	18	

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	6 - 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 レーザ加工機1台、CAD/CAMシステム11式、卓上ボール盤2台、直立ボール盤1台	2年生の実習「NCフライス盤」、3年生の実習「レーザ加工」「課題研究」で使用。 年間630時間	平成27年1月	円 35,856,000
2	6 - 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 NC旋盤 QUICK TURN SMART 150S UNIVERSAL (300) 2台、CAD/CAMシステム11式	3年生の実習「NC旋盤」「課題研究」で使用。 年間420時間	平成27年1月	26,136,000
3	7 - 1	育成用機器	温室複合環境制御装置 ラインコンピュータ、アプリケーションソフト、周辺機器	温室やビニールハウスの環境制御に使用。 常時稼働	平成7年2月	25,626,400
4	7 - 1	育成用機器	育成用機器 パネル式植物工場TAF-35S、空調装置5台、栽培棚4段×2列、制御装置、保安装置ほか	3年生の「課題研究」で使用。 常時稼働	平成27年3月	22,140,000
5	2 - 1	その他の情報処理機器	パソコン実習装置 サーバ1台、パソコン43台、プロジェクト型電子黒板8台、アクセスポイント、アンプ、スピーカ	商業の授業で使用。 年間350時間	令和4年3月	19,789,000
6	2 - 1	その他の情報処理機器	映像・音声配信技術学習装置 エネルギー室：パソコン21台、プロジェクタ、OAフロア、スクリーン 第3パソコン室：パソコン21台、サーバ、プロジェクタ、スクリーン	工業の授業で使用。 エネルギー室：年間840時間 第3パソコン室：年間315時間	令和4年1月	18,645,000
7	7 - 1	その他の農産用機器	複合環境制御装置（環境制御装置） 環境測定装置4台、養液栽培装置2式、チラー2台、循環扇6台、LED捕虫器4台	温室やビニールハウスの環境制御に使用。 常時稼働	令和4年3月	18,150,000
8	2 - 1	パーソナルコンピュータ（一式）	パーソナルコンピュータ（一式） サーバ1台、ノートパソコン教師用1台・生徒用42台、カラーレーザプリンタ1台、提示装置1式、什器1式、LAN機器1式、ソフトウェア1式	商業科目（マーケティング分野中心）で作品作りやパソコン実習に使用。 年間680時間	平成27年2月	14,796,000
9	5 - 1	強度試験・計測機器	万能材料試験器 UH-50A、データ処理装置ほか	2、3年生の実習「材料試験」で使用。 年間210時間	平成5年2月	14,729,000
10	6 - 2	金属加工工作機器	平面研削盤 NC平面研削盤PSG-52DXNC	3年生の実習「三次元測定」で使用。 年間158時間	平成8年2月	14,317,000
11	2 - 1	パーソナルコンピュータ（一式）	自動設計製図装置 パソコン21台、プロッタ1台、カラープリンタ1台、サーバ1台、教育プレゼンテーション用機器1式、ネットワーク1式	3年生の「機械製図」「課題研究」で使用。 年間315時間	平成16年2月	14,099,746
12	2 - 1	その他の情報処理機器	複合環境制御装置（環境計測データ処理装置） パソコン42台、カラーレーザプリンタ1台、屋外アクセスポイント3台	農業の授業で使用。 年間350時間	令和4年1月	14,080,000
13	2 - 1	パーソナルコンピュータ（一式）	自動工作シミュレーションシステム パソコン22台、サーバ2台、レーザプリンタ2台、プロジェクタ1式、LANシステム2式、NCデータ転送装置1式、CAD/CAMシステム	3年生の実習「NC旋盤」「課題研究」で使用。 年間420時間	平成22年2月	13,787,550
14	2 - 1	その他の情報処理機器	アーム型ロボット制御実習装置 試験計測実習室：パソコン18台、カラーレーザプリンタ、ロボット 仕上組立実習室：ロボット実習装置1式、TIG溶接機	工業実習において使用。 試験計測実習室：年間60時間 仕上組立実習室：年間40時間	令和4年3月	13,750,000

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
15	6 - 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 普通旋盤（4尺）LR-55A 1式	1年生の工業実習において、文鎮や鉄アレイの製作に使用。 年間192時間	令和7年3月	13,420,000
16	2 - 1	パーソナルコンピュータ（一式）	パーソナルコンピュータ（一式） サーバ1台、ワークステーション教師用1台、ワークステーション生徒用20台、カラーレーザ複合機1台、モノクロレーザプリンタ1台ほか	3年生の「機械製図」「課題研究」で使用。 年間315時間	平成27年1月	12,333,600
17	7 - 1	環境整備用機器	培養接種室 清浄度クラス10,000 集塵率0.3 μ 99.9%以上	1年生の「農業と環境」、3年生の「植物バイオテクノロジー」「課題研究」で使用。 常時稼働	平成2年3月	11,948,000
18	6 - 2	金属加工工作機器	金属加工工作機器 マシニングセンタVERTICAL CENTER SMART 430A LH 1台、付属品1式	3年生の実習「3次元測定」「課題研究」で使用。 年間315時間	平成27年1月	11,880,000
19	1 - 99	その他の庁用器具	製図器具 ドラフタ右利き用40台・左利き用2台、製図板42枚、製図台42台、椅子42台、サイドデスク42台、図面保管庫1台	2、3年生の「機械製図」で使用。 年間455時間	平成27年1月	11,803,611
20	6 - 2	金属加工工作機器	ワイヤ放電加工機 SM-300、加工液供給装置、数値制御電源装置	2年生の実習「放電加工」、3年生の「課題研究」で使用。 年間420時間	平成8年3月	11,000,400

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

品名(単位)		メロン(個) (温室野菜)				トマト(kg) (温室野菜)				チンゲンサイ(kg) (温室野菜)				リーフレタス(kg) (温室野菜)				
		5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	
作付面積(m ²) (ア)		432	432	432	0	270	270	270	0	187	187	187	0	40	40	40	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	本年度生産高 (イ)	196	125	107	△ 71	220.00	177.00	132.00	△ 43.00	109.00	142.00	0.00	33.00	377.50	255.50	244.00	△ 122.00	
	計	196	125	107	△ 71	220.00	177.00	132.00	△ 43.00	109.00	142.00	0.00	33.00	377.50	255.50	244.00	△ 122.00	
単位数量(イ/ア)		0.45	0.29	0.25	△ 0.16	0.81	0.66	0.49	△ 0.15	0.58	0.76	0.00	0.18	9.44	6.39	6.10	△ 3.05	
同前年比(%) (b-a) / a × 100		/	/	/	△ 36.2	/	/	/	△ 19.6	/	/	/	30.3	/	/	/	△ 32.3	
払 高	売払数量	196	125	107	△ 71	220.00	177.00	132.00	△ 43.00	109.00	142.00	0.00	33.00	377.50	255.50	244.00	△ 122.00	
	売払金額	190,000	144,600	122,000	△ 45,400	65,000	66,000	44,000	1,000	29,000	55,000	0	26,000	67,000	48,000	29,000	△ 19,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		管理換 その他	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	196	125	107	△ 71	220.00	177.00	132.00	△ 43.00	109.00	142.00	0.00	33.00	377.50	255.50	244.00	△ 122.00	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
摘 要																		

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

品名(単位)		メロン(個) (ハウス野菜)				トマト(kg) (ハウス野菜)				キャベツ(kg) (露地野菜)				カボチャ(kg) (露地野菜)				
		5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	
作付面積(m ²) (ア)		872	872	872	0	0	0	18	0	80	80	80	0	160	160	160	0	
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	本年度生産高 (イ)	715	660	0	△ 55	0.00	0.00	38.40	0.00	230.40	180.00	0.00	△ 50.40	104.00	86.00	0.00	△ 18.00	
	計	715	660	0	△ 55	0.00	0.00	38.40	0.00	230.40	180.00	0.00	△ 50.40	104.00	86.00	0.00	△ 18.00	
単位数量 (イ/ア)		0.82	0.76	0.00	△ 0.06	0.00	0.00	2.13	0.00	2.88	2.25	0.00	△ 0.63	0.65	0.54	0.00	△ 0.11	
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		/	/	/	△ 7.7	/	/	/	0.0	/	/	/	△ 21.9	/	/	/	△ 17.3	
払 高	売払数量	715	660	0	△ 55	0.00	0.00	38.40	0.00	230.40	180.00	0.00	△ 50.40	104.00	86.00	0.00	△ 18.00	
	売払金額	953,600	818,600	0	△ 135,000	0	0	12,000	0	18,200	41,000	0	22,800	22,000	20,000	0	△ 2,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		管理換 その他	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	715	660	0	△ 55	0.00	0.00	38.40	0.00	230.40	180.00	0.00	△ 50.40	104.00	86.00	0.00	△ 18.00	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
摘 要																		

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

品名(単位)		ハクサイ (kg) (露地野菜)				ダイコン (kg) (露地野菜)				草花苗 (鉢) (温室花卉)				草花苗 (プランター) (温室花卉)				
		5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	
作付面積(m ²) (ア)		80	80	80	0	10	10	10	0	323	323	323	0	47	47	47	0	
受 高	前年度繰越高	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	496.00	247.50	0.00	△ 248.50	203.00	144.00	0.00	△ 59.00	18,470	13,036	12,263	△ 5,434	82	82	82	0	
	計	496.00	247.50	0.00	△ 248.50	203.00	144.00	0.00	△ 59.00	18,470	13,036	12,263	△ 5,434	82	82	82	0	
単位数量 (イ/ア)		6.20	3.09	0.00	△ 3.11	20.30	14.40	0.00	△ 5.90	57.18	40.36	37.97	△ 16.82	1.74	1.74	1.74	0.00	
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		/	/	/	△ 50.1	/	/	/	△ 29.1	/	/	/	△ 29.4	/	/	/	0.0	
払 高	売払数量	496.00	247.50	0.00	△ 248.50	203.00	144.00	0.00	△ 59.00	18,470	13,036	12,263	△ 5,434	82	82	82	0	
	売払金額	24,800	27,200	0	2,400	16,000	16,100	0	100	659,765	693,110	390,330	33,345	90,200	90,200	90,200	0	
	非売品 数量	分類換	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	496.00	247.50	0.00	△ 248.50	203.00	144.00	0.00	△ 59.00	18,470	13,036	12,263	△ 5,434	82	82	82	0	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要																		

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

品名(単位)		ミカン (kg) (柑橘)				ビワ (kg) (柑橘)				ブルーベリー (kg) (柑橘)				イチゴジャム (個) (加工(農産))				
		5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	
作付面積(m ²) (ア)		1,483	1,483	1,483	0	30	30	30	0	30	30	30	0	/	/	/	/	
受 高	前年度繰越高	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	
	本年度生産高 (イ)	4,258.30	3,425.00	0.00	△ 833.30	11.75	21.70	27.20	9.95	28.70	48.85	1.80	20.15	400	400	200	0	
	計	4,258.30	3,425.00	0.00	△ 833.30	11.75	21.70	27.20	9.95	28.70	48.85	1.80	20.15	400	400	200	0	
単位数数量 (イ/ア)		2.87	2.31	0.00	△ 0.56	0.39	0.72	0.91	0.33	0.96	1.63	0.06	0.67	/	/	/	/	
同前年比 (%) (b-a) / a × 100		/	/	/	△ 19.6	/	/	/	84.7	/	/	/	70.2	/	/	/	0.0	
払 高	売払数量	4,178.30	3,425.00	0.00	△ 753.30	11.75	21.70	27.20	9.95	28.70	48.85	1.80	20.15	400	400	200	0	
	売払金額	1,257,500	1,310,700	0	53,200	9,400	32,200	28,800	22,800	42,400	83,500	4,050	41,100	80,000	80,000	50,000	0	
	非売品 数量	分類換	80.00	0.00	0.00	△ 80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
		管理換 その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
	計	4,258.30	3,425.00	0.00	△ 833.30	11.75	21.70	27.20	9.95	28.70	48.85	1.80	20.15	400	400	200	0	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	
摘 要																		

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

品名(単位) 区分		ミカンジャム(個) (加工(農産))				計				
		5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	令和7年 7月31日 現在	差 b-a	
作付面積(㎡) (ア)		/	/	/	/					
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0					
	本年度生産高 (イ)	100	100	100	0					
	計	100	100	100	0					
単位数(イ/ア)		/	/	/	/					
同前年比(%) (b-a) / a × 100		/	/	/	0.0	/	/	/		
払 高	売払数量	100	100	100	0					
	売払金額	20,000	20,000	25,000	0	3,544,865	3,546,210	795,380	1,345	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0				
		管理換 その他	0	0	0	0				
	計	100	100	100	0					
残高又は繰越数量		0	0	0	0					
摘 要										

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	新井 淳一		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
2	副校長	加藤 剛史		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
3	教頭	高橋 秀幸	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
4	事務長	池谷 悦男	事務総括	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
5	教諭	日置 要	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
6	教諭	植村 徹	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
7	教諭	澤田 守人	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
8	教諭	大川 久和	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
9	教諭	岡田 昌人	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
10	教諭	久米 宏幸	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
11	教諭	加藤 久智	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
12	教諭	石原 諭	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
13	教諭	松浦 健一	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
14	教諭	山下 勝美	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
15	教諭	中村 幸一	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
16	教諭	中澤 修	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
17	教諭	平野 悦久	音楽	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
18	教諭	渥美 淳一	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
19	教諭	澤木 潤	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
20	教諭	笹ヶ瀬 達也	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
21	教諭	名倉 正志	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
22	教諭	加藤 康雄	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
23	教諭	鈴木 いずみ	家庭	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
24	教諭	大野 晋	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
25	教諭	河西 あずさ子	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
26	教諭	鈴木 厚也	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
27	教諭	村田 真弓	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
28	教諭	鈴木 加苗	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
29	教諭	大場 隆幸	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
30	教諭	宮司 真弘	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
31	教諭	巨島 まどか	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
32	教諭	近藤 恭章	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
33	教諭	木下 真澄	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
34	教諭	山本 浩史	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
35	教諭	中川 大	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
36	教諭	小澤 敦	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
37	教諭	袴田 美里	家庭	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
38	教諭	久保田 大二朗	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
39	教諭	池島 健仁	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
40	教諭	中澤 良隆	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
41	教諭	大友 佑紀	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
42	教諭	富永 明洋	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
43	教諭	稲垣 宣泰	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
44	教諭	本多 隼也	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
45	教諭	藤原 和臣	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
46	教諭	佐藤 一成	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
47	教諭	早川 堅人	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
48	教諭	関戸 太祐	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
49	教諭	奥平 智恵子	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
50	教諭	枝村 拓磨	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
51	教諭	高田 秀明	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
52	教諭	安廣 祐介	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
53	教諭	和久田 浩晃	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
54	教諭	秋岡 春香	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
55	教諭	新田 竜平	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
56	教諭	水野 瑚都	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
57	教諭	吉川 勇海	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
58	教諭	小野田 司	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
59	教諭	一条 誠人	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
60	教諭	鈴木 裕美子	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
61	教諭(実)	朝元 上	工業実習	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
62	教諭(実)	宇津山 宜浩	農業実習	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
63	教諭(実)	鈴木 智章	工業実習	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
64	教諭(実)	黒瀬 哲幸	工業実習	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
65	教諭(実)	村上 晋	農業実習	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
66	養護教諭	松野 寿満子	養護	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
67	養護教諭	大形 仁美	養護	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
68	主任実習助手	加茂川 智香	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
69	実習助手	栗本 里奈	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
70	実習助手(任)	平田 麻奈	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
71	主査	鈴木 麻衣子	会計	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
72	主査	清水 理秀	—	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
73	主査	大石 まどか	給与	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
74	主任	高橋 剛一	管財	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
75	主任	小田川 紘輔	会計	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
76	主任	宮木 七未	—	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
77	技能長	中村 剛	用務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
78	技能長	河合 史暁	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
平均年数					□□□□	

職 員 調

臨時職員・会計年度任用職員

(令和7年7月31日現在)

職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
教諭(臨)	影山 訓子	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
教諭(臨)	高村 建太	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
実習助手(臨)	芹澤 武	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
外国語指導講師	Carl Watkins	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	山崎 裕人	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	大石 義孝	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	鈴木 萌香	美術	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	松下 あゆみ	書道	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	和田 紀久也	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	藤原 頼美	福祉	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	藤崎 勝巳	農業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	金原 秀典	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	竹内 秀介	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	宮本 弘己	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	山下 忠久	工業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師 部活動指導員	山田 雅幸	工業 テニス	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	船越 国男	商業	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤講師	小野田 和子	家庭	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤労務職員	田中 正史	用務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤労務職員	鈴木 隆人	用務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤労務職員	清水 実	農場管理	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤嘱託員	田中 宏枝	事務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
非常勤嘱託員	田中 千恵子	事務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
スクールカウンセラー	伊藤 恵		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
スクールカウンセラー	上村 訓子		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
学校医	名倉 康雄	内科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
学校医	町田 薫	眼科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
学校医	戸田 行雄	耳鼻科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
学校歯科医	足立 桂子		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
学校歯科医	太田 淳		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
学校薬剤師	太田 由香里		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	副 校 長	橋 本 徳 一		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
2	教 頭	長谷川 竜一	理 科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
3	教 諭	鈴 木 智 彦	国 語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
4	教 諭	藤 橋 由 満	国 語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
5	教 諭	大 澤 春 海	地 歴 公 民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
6	教 諭	渭 原 宏 美	数 学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
7	教 諭	伊 東 昂 二	数 学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
8	教 諭	川 手 智 博	理 科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
9	教 諭	和 田 全 弘	保 健 体 育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
10	教 諭	村 田 精 吾	外 国 語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
11	教 諭	佐 藤 楓 太	外 国 語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
12	教 諭	勝 又 俊 貴	外 国 語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
13	主 任	鈴 木 圭	給 与 ・ 会 計	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
14	主 任	森 下 侑 磨	管 財 ・ 会 計	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
15	主任技能員	平松 寿々子	用 務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
平均年数					□□□□	

臨時職員・会計年度任用職員

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	水谷 宏寿	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
2	養護教諭	井口 萌	養護	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
3	非常勤講師	三輪 菊雄	数学	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
4	非常勤講師	利倉 修	外国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
5	非常勤講師	高田 雄介	理科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
6	非常勤講師	青寫 孝芳	情報	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
7	非常勤講師	鈴木 千穂	国語	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
8	非常勤講師	小野田 和子	家庭	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
9	非常勤講師	森本 美穂子	音楽	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
10	非常勤講師	永田 真菜実	美術	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
11	非常勤講師	水野 航介	体育	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
12	非常勤労務職員	野菊 哲史	用務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
13	学校医	三枝 智宏	内科・眼科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
14	学校医	本間 芳人	耳鼻科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
15	学校歯科医	小澤 亨司	歯科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□
16	学校薬剤師	西島 由仁	薬剤師	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□

職員の年齢調

〈本校〉

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	6	
30歳以上40歳未満	22	
40歳以上50歳未満	6	
50歳以上56歳未満	17	
56歳以上61歳未満	16	
61歳以上	11	再任用職員 9人
計	78	平均年齢 48.0歳

職 員 の 年 齢 調

〈分校〉

(令和7年7月31日 現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上 30 歳未満	4	
30 歳以上 40 歳未満	6	
40 歳以上 50 歳未満	1	
50 歳以上 56 歳未満	1	
56 歳以上 61 歳未満	2	
61 歳以上	1	再任用職員 1人
計	15	平均年齢 37.9歳

健康管理

〈本校〉

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 81人
	職員数 81
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由
該当なし

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていよいよが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	21人 (21)
D 2		要経過観察	27人 (27)
D 3		医 療 不 要	26人 (26)
区 分 者 計			74人 (74)
未区分者数			4人
合 計			78人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 1人
イ 新規採用 3人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他 人
()

健康管理

〈分校〉

1 6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 14人
	職員数 14人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	1人 (1)
D 2		要経過観察	4人 (4)
D 3		医 療 不 要	9人 (9)
区 分 者 計			14人 (14)
未区分者数			1人 (1)
合 計			15人 (15)

(1) 管理区分A～C 2該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由
 ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 1人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人